

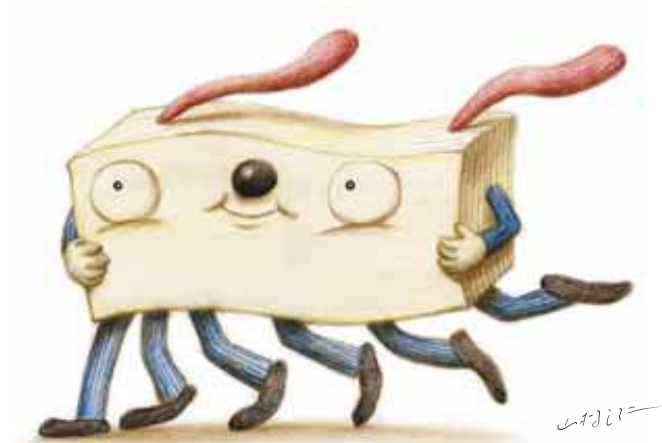
広島は、まちじゅう、アニメーション。

Hiroshima Animation Biennale

広島アニメーションビエンナーレ

2004-2008

事業報告書



イメージキャラクター「ハビ」くん

も く じ

ごあいさつ	2
第1章 広島アニメーションビエンナーレ2008事業	
1 事業報告	4
(1) 主催事業「ロボットアニメEXPO」	4
(2) 協賛事業及び関連催事	4
(3) 広島国際アニメーションフェスティバルとの連携	5
2 事業体制	6
広島アニメーションビエンナーレ2008 事業体制	6
3 実行委員会	7
広島アニメーションビエンナーレ2008 実行委員会	7
4 広告物	8
5 ロボットアニメEXPO	11
6 マスコミ&広報記録	18
7 事務局活動記録	26
8 協賛事業	28
(1) 協賛事業一覧表	28
(2) おもな協賛事業	31
9 アンケート集約表	39
第2章 広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金の軌跡	
1 開催までの歩み	44
2 イベント事業による集客交流の活性化	50
(1) 広島アニメーションビエンナーレ2004	50
(2) 広島アニメーションビエンナーレ2006	51
(3) 広島アニメーションビエンナーレ2008	52
(4) 広島アニメーションビエンナーレ事業 総括	53
3 コンテンツ産業人材育成	54
広島経済同友会提言 広島市立大学にアニメーション学科を(抜粋)	55
広島市立大学寄附講座 広島アニメーションアカデミー2005-2006 講義録	59
広島市立大学寄附講座 広島アニメーションアカデミー2008 講義録	63
4 アニメーションを核としたコンテンツ産業振興	72
(1) ポール・イマージュ・広島	72
(2) アニメCMオープンコンペ	77
(3) アニメーション総合ポータルサイト「広島アニメーションシティ」	80
(4) みんなのライトノベルコンテスト	81
(5) 平成20年度 中国地域の文化資源情報発信及びコンテンツ人材育成事業	83
(6) 平成17年度 広島・アジア アニメーションシンポジウム	86
(7) 平成18年度 中国地域におけるアニメ等コンテンツを活用した地域振興方策調査	88
(8) 平成19年度 中国地域におけるアニメ等コンテンツを活用した地域振興方策の実証事業	88
(9) 平成19年度 アニメーションによるインバウンド連携事業(韓国)	89
(10) アニメーションを核としたコンテンツ産業振興事業 総括	91
5 ビエンナーレ基金事業の総括	92
1. 基金事業の総括	92
2. お金の動きから見た、ビエンナーレ基金事業	93
3. 人の動きから見た、ビエンナーレ基金事業	93

ごあいさつ

「アニメーションを核とした街おこし」を合言葉に、広島県の産業振興と文化振興を図るため、平成16年3月、広島経済同友会が「有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金」を設立しました。

広島市が主催する世界4大アニメーション映画祭「広島国際アニメーションフェスティバル」と連携し、2年に一度、様々なイベントを展開することで、「アニメーションの街・広島」を国内外にアピールし、「アニメーションによる街おこし」の中核組織として、地域活性化に貢献してまいりました。

また、イベントによる観光誘致・集客動員のみならず、学術研究の集積、文化交流・人材育成に繋がる事業、すなわち人材育成事業（広島市立大学公開講座の開講等）、コンテンツ産業振興事業（アニメCMコンペ、フィルムマーケットの開催、ウェブサービス事業等）、海外からのアニメファン誘致事業（VJC連携事業）などを行い、「広島発コンテンツ産業」の基盤整備を目指した活動を継続的に行ってまいりました。

産官学プラス民が、「アニメーション」というキーワードを共有し、相互に連携しながら、地域の活性化を実現するという取り組みは、一地方都市として、これほど大規模かつ継続的に行った類似の事例は他になく、今や広島は、「アニメーションの街」として国内外に認知された、といっても過言ではありません。

このたび、平成20年12月1日、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」が施行され、当法人の根拠法「中間法人法」が廃止されるにあたり、約5年間にわたり活動してまいりました当法人は、設立の当初目的を一定以上果たしたと判断し、第5期（平成20年12月）を持って、当法人を解散することといたしました。

これまで、様々な形でご協力いただきました企業の皆様、教育機関の皆様、行政機関の皆様、そしてなによりも、当法人の活動を温かく見守っていただきました市民の皆様に、感謝の意を表すると同時に、「ビエンナーレ」が起こした、「アニメーションによる街おこし」「人材の育成」「地域のコンテンツ産業振興」という運動が、引き続き、皆様の手によって継続されることを願って止みません。

どうもありがとうございました。

2009年3月

有限責任中間法人広島経済同友会
アニメーションビエンナーレ基金
代表理事 安東善博



第1章

広島アニメーションビエンナーレ2008事業

広島アニメーションビエンナーレ2008

テ ー マ	「2008 夏。広島は、まちじゅう、アニメーション。」
会 期	2008年7月～8月
会 場	福屋広島駅前店（南区松原町）他
事業体制	主 催 広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会 共 催 広島経済同友会 広島商工会議所 広島県 広島市 （財）ひろしま文化振興財団 （財）広島市文化財団
主な内容	・メインプログラム「ロボットアニメ EXPO」8月7日～8月26日 ・サブプログラム（協賛事業）および関連催事 アニメ関連催事・映画館・映像文化ライブラリー・公民館でアニメーション上映他
集客人員	534,620人（総動員数）

(1) 主催事業「ロボットアニメ EXPO」

メインプログラム「ロボットアニメ EXPO」は、日本最初のロボットアニメ「鉄腕アトム」の作者である手塚治虫先生の生誕80周年を記念して、日本動画協会の企画協力により、地方都市では初となる、アニメ制作会社の枠を超えた、全55作品のロボットアニメを揃えた企画展として実施した。

福屋広島駅前店にて8月7日～8月26日の20日間開催し、実質入場者は27,680人となった。その内訳は、当日券入場者12,711人（45.9%）、手売前売券入場者13,765人（49.7%）、プレイガイド前売券入場者832人（3.0%）、招待券入場者372人（1.4%）となり、前2回の開催よりも、当日入場者および手売前売券入場者の割合が多い結果となった。

入場者目標として、2006年事業実績の39,935人を参考に、4万人と設定したが、残念ながら、達成することはできなかった。原因としては、前回の「東映アニメーション50周年ヒストリー」では、女兒向けのプリキュアや大型遊具の展示があったが、今回は、「ロボットアニメ」ということで、女性層・幼児向けの展示が乏しかったことと、会期が20日間と、前回より10日間短かったことが挙げられる。ただし、1日当たりの平均来場者数は、前回とほぼ同等の1,384名となった。

収入の面では、チケット販売目標として71,000枚を計上した。組織動員として広島経済同友会会員各社を中心とした企業に積極的に取り組んでいただいた結果、58,720枚販売しており、当日券の販売枚数を加えると、当初のチケット販売目標を超え、73,137枚を達成した。

また、支出の面でも、(株)福屋に全面的に協力していただいたことにより、2006年に比べて大幅に圧縮することが出来たので、2008年度事業は、黒字決算となった。

(2) 協賛事業及び関連催事

広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会では、主催事業として「ロボットアニメ EXPO」を福屋広島駅前店にて開催すると同時に、地域の公共施設・美術館・商業施設・映画館・公民館・企業・

教育機関・行政機関・民間団体等に「協賛事業」への参加を呼びかけた。

協賛事業とは、各団体が自主運営の独自企画、すなわちアニメーションに関する企画展や上映会やコンサート、市民参加型の募集企画、著名なクリエイターとの交流会などのイベントを持ち寄り、「広島アニメーションピエンナーレ2008協賛事業」を銘打つことにより、実行委員会が相互の連携を図り、キャンペーンとして統一広報を行うことで、情報発信力を強化すると同時に、7月～8月の2ヶ月間「まちじゅうをアニメーションで埋め尽くす」ことを目的とするものであった。

「アニメーション」をきっかけに、老若男女が集い、楽しみ、まちじゅうを「いきいき」させたい。そんな思いをもつ人たちが、「ピエンナーレの旗」の下に集い、様々な取り組みを実現した。

本年度は、広島市域のみならず、広島県域、そして広く中国地方全域に、アニメ・漫画・キャラクターに関するイベントを開催する施設・団体より、協賛事業参加をしていただいた。

特筆すべきことは、アニメソングイベントやプラモデル展示会、妖怪そっくりコンテスト（境港）、地域を舞台にしたアニメ作品の原画展（尾道）など、自分たちの手によってイベントを立ち上げ、継続的に開催することにより、地域の活性化と文化の創造に繋げてゆきたい、という取り組みが生まれてきた、ということが挙げられる。

また、大阪市立大学との連携で実現した「国際ガンダム学会準備会議」は、YAHOO!のトップニュースとして取り上げられ、続いて様々なメディアが報道し、全国的な反響を呼んだ。

結果、協賛事業は前回の64イベントから70イベントと増え、「広島アニメーションピエンナーレ2008」の総動員数は、前回の378,272人から、534,620人と156,348人増加した。

(3) 広島国際アニメーションフェスティバルとの連携

広島国際アニメーションフェスティバルは、本年度は8月7日から11日の5日間で開催され、従来の8月下旬の開催から変更になった。それを踏まえてピエンナーレ主催事業「ロボットアニメEXPO」の開始日を8月7日とし、同時スタートとすることにより、従来にも増して、より一体感を持った祝祭的空間を演出することができた。

具体的な連携としては、2006年度に続き2回目となる、「広島エデュケーショナルフィルムマーケット」の開催で、ピエンナーレ事務局が一部費用を負担して、フェスティバル実行委員会に開催していただいたことが、大きな成果として挙げられる。

また、チケットについて、それぞれの半券を提示することにより、割引入場ができる制度を設けることにより、相互の送客を実現することができた。そのため、フェスティバルの開催期間中、ロボットアニメEXPO来場者の中に、外国からのお客様が前2回よりも大幅増加した傾向が見受けられた。

同時に、フェスティバルにて「アニメーションより愛をこめて / 手塚治虫の仕事」という、ピエンナーレと共通のテーマに基づいたプログラムを実施していただいたことも、特筆すべき点である。

2 事業体制

広島アニメーションビエンナーレ 2008 事業体制

主	催	広島アニメーションビエンナーレ 2008 実行委員会	
共	催	広島経済同友会 広島商工会議所 広島県 広島市 財ひろしま文化振興財団 財広島市文化財団	
後	援	経済産業省 総務省中国総合通信局 広島市教育委員会 広島市小学校長会 広島市子ども会連合会 社広島県専修学校各種学校連盟 財広島平和文化センター 広島県経営者協会 広島県興行生活衛生同業組合 国際アニメーションフィルム協会日本支部 社日本映画テレビ技術協会 中国新聞社 毎日新聞広島支局 産経新聞中・四国総局 社共同通信社広島支局 NHK広島放送局 広島テレビ テレビ新広島 FMちゅーピー 76.6MHz 財ひろしまケーブルテレビ	文化庁 広島県教育委員会 広島市公立中学校長会 広島市PTA協議会 広島県私立中学高等学校協会 社広島私立幼稚園協会 中国経済連合会 社広島青年会議所 西日本旅客鉄道(株)広島支社 社映像文化製作者連盟 中間法人日本動画協会 朝日新聞広島総局 読売新聞大阪本社 日本経済新聞社広島支局 時事通信社広島支社 中国放送 広島ホームテレビ 広島エフエム放送 株ふれあいチャンネル

3 実行委員会

広島アニメーションビエンナーレ 2008 実行委員会

		氏名	所属
代 表		山本 一隆	広島経済同友会代表幹事 中国新聞社
		深山 英樹	広島経済同友会代表幹事 広島ガス
実 行 委 員 長		安東 善博	広島アニメーションビエンナーレ基金代表理事 中国放送
実 副 委 員 長		島村 誠	テレビ新広島
部 会 長	総務・経理部会長	実平 悦夫	中国新聞社
	事業実施部会長	川島 宏治	中国放送
	広報部会長	中丸 直明	広島ガス
常 任 委 員	販売促進部会長	和田 敏夫	広島電鉄
		岩崎 恭久	中国電力
		神野 恭次	マツダ
		大辻 茂	広島銀行
		坪井 宏	広島信用金庫
		植村 恭明	東洋観光
		大下 洋嗣	福屋
		久保 行夫	広島経済同友会事務局長
		大和 敬悟	ひろしま文化振興財団事務局長
広 報 部 委 員		沢田 正	共同通信社広島支局
		林 定一	中国新聞社
		目黒 英一	日本放送協会広島放送局
		望月 公正	広島テレビ放送
		野崎 賢治	広島ホームテレビ
		辻井 正典	テレビ新広島
		下村 幸嗣	広島エフエム放送
		屋敷 和義	ひろしまケーブルテレビ
		和田 知己	ふれあいチャンネル
		佃 正和	F Mちゅーピー
		中島 祐二	電通西日本広島支社
事 業 実 施 部 委 員		青木 泉	日本放送協会広島放送局
		平岡 真	テレビ新広島
		屋敷 和義	ひろしまケーブルテレビ
		和田 知己	ふれあいチャンネル
		大橋 啓一	Haby クラブ
		中山 光治	中国経済産業局
		川本 憲之	広島市映像文化ライブラリー
		蔵本 順子	サロンシネマ・シネツイン
		吉田 清	広島市立中区図書館
		小林 郁治	広島市まんが図書館
		猫本 力	アイラブひろしま実行委員会
		蔵田 圭伸	広島エアフォース
		田中耕一郎	かみちゅ！展実行委員会
事 業 実 施 部 委 員		真田 琢也	リーガロイヤルホテル広島
		坂田 治男	NTT クレドホール
		金子 克之	広島市ひと・まちネットワーク
		神垣 太持	広島国際学院大学
		松浦 妙子	イギリス人形アニメーションの現場@広島実行委員会
		芥川 雅利	財団法人筆の里工房振興事業団
		若狭 利康	N P O セトラひろしま
		川崎 まみ	カフェめいぷりてい
		榎田 知身	水木しげる記念館
		澄川 喜一	島根県芸術文化センター
		仁井 誠	松江開府400年祭推進協議会事務局
		杉浦 幹男	大阪市立大学都市研究プラザ
事 務 局 長		百々 隆雄	広島電鉄
事 務 局 次 長		小野 浩二	中国新聞社
		朝中 真紀	広島ガス
事 務 局 員		小池 隆二	中国放送

好評開催中!!

ロボットアニメEXPO
ROBOT ANIMATION EXPOSITION 2008

人気ロボットアニメが大集結!
55作品の貴重な映像&フィギュア!!

8/7(木)~8/26(火) Fukuya
福屋広島駅前店8階催場

●期間中無休 ●10:00~20:00(休日は閉場30分前まで/最終日は18:00閉場)

料金 ■当日券/おとな・子ども共通 600円 ■前売券/おとな・子ども共通 500円
※2歳以下無料 ※消費税込

チケットのお求めは
福屋(広島駅前店、八丁堀本店)、デオデオ本店、JTB、JR西日本(広島・山口エリア)主な駅のみどりの窓口、ローソンチケット(Lコード:69058)、電子チケットびら(Pコード:086-150)

主催:広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会
共催:広島経済同友会/広島商工会議所/広島県/広島市/広島ひろしま文化芸術財団/広島市文化財団
企画:中野正人 日本動画協会
企画協力:東京国際アニメフェア実行委員会
特別協力:株式会社福屋/株式会社デオデオ

2008年、夏、広島は、まちじゅう、アニメーション。
Machi no Ma no Shiki ni
広島アニメーションビエンナーレ 2008

お問い合わせ/広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会 ☎082-249-8901 <http://www.hiroshima-animation-biennale.jp/>

案内看板

ロボットアニメEXPO
好評開催中!

会場はすぐそこ!
当駅南口正面
約100m!!
福屋広島駅前店 Fukuya
8階催場

人気ロボットアニメ55作品を
ダイジェスト映像と
フィギュアで一挙紹介!!

チケットのお求めは当駅
みどりの窓口へどうぞ!!

A4

8階催場

ロボットアニメEXPO

ROBOT ANIMATION EXPOSITION 2008

入場料

600円

おとな・子ども共通 (2歳以下無料) 消費税込

主催:広島アニメーションビエンナーレ2008実行委員会

8/7(木)

▼26(火)

最終日午後6時開場



オープニングセレモニー (平成20年8月7日(木))

写真左より

- 深山 英樹 広島経済同友会代表幹事
- 石川 芳彰 東映(株)専務
- 秋葉 忠利 広島市長
- 藤田 雄山 広島県知事
- 河野 高信 広島商工会議所副会頭
- 山本 一隆 広島経済同友会代表幹事



入場者1万人を突破 広島の「ロボEXPO」

広島市南区の福屋広島駅前店で開催中の「ロボットアニメEXPO」の入場者が十五日、二万人を突破した。ロボットアニメの歴史を映像や関連フィギュアなどでたどる展示が人気を集めている。一万人目は、夏休みを利用して、広島市内の親類宅に来ていた和歌山県岩出市、中学一年宮本雄太郎君(12)。広島アニメーションヒー



1万人目の記念品を受け取る
宮本君(左から2人目)

ンナレ2008実行委員会の百々隆雄事務局長が「機動戦士ガンダムZ」のプラモデルを贈呈。宮本君は「ガンダムが好きで見に来た。さっそく作りたい」と喜んでいた。EXPOはピエンナールのメイン事業で七日に開会。「鉄腕アトム」など五十五作品を紹介している。二十六日まで。

(片山明子)

中国新聞 平成20年8月16日 朝刊

入場者1万人達成 2008年8月15日(金)



2万人の笑顔「合体」 広島ロボアニメ展

広島市南区の福屋広島駅前店で開催中の「ロボットアニメEXPO」の入場者が二十二日、二万人を超えた。二万人目は、安佐南区の里砂岡台小六年平谷前音さん(11)。母親や弟、友人家族六人で訪れた。人気アニメ「新世紀エヴァンゲリオン」のキャラクターに扮したメイドカフェの女性が記念品のプラモデルをプレゼント。平谷さんは「アニメは好きだけれど、びっくり。みんなが作ります」と笑顔を見せていた。EXPOは二十六日まで開催。五十五作品の映像やフィギュアを展示している。(黒田明美)

コスプレ姿の女性(右端)から2万人目の記念品を受け取る平谷さん(中央)

中国新聞 平成20年8月23日 朝刊

入場者2万人達成

2008年8月22日(金)



会場入口 巨大ロボット



会場内 盛況の様子



展示「鉄腕アトム」



展示 映像エフェクトコーナー



展示「プラモデルコーナー」



プラモデル制作体験コーナー

ロボットアニメーションの歴史

はじめに

有史以来、“人造人間”を夢見てきた人類。

やがて時計技術の誕生とともにオートマタ（からくり人形）を制作し、産業革命を経て金属むき出しの機械人間も夢想するようになります。

日に日に機械化が進む時代を背景に、チェコの国民的人気作家カレル・チャペックが1920年、戯曲「R.U.R.」で初めてロボットという言葉を世に発しました。

人びとが漠然といたっていたイメージに名前が付いたことによる影響力は巨大で、世界中でロボットは未来を表すキャッチフレーズとしてブームを巻き起こしました。

日本では戦後、漫画の世界でロボットはアイドルに。

以後テクノロジーの進化とともにさまざまな思考実験を繰り返しながらアニメーションのロボットと現実のロボットは、互いに影響しあい発展していくこととなります。

1960年代——



「鉄腕アトム」 ©TezukaProductions



「鉄人28号」 ©光プロダクション・エイケン

主な作品

1. 鉄腕アトム
2. 鉄人28号
3. エイトマン

1960年代は、日本が敗戦の衝撃からようやく抜けだして本格的な高度経済成長期にさしかかった時代です。その時期にテレビも当時の最先端メディアとして急速に家庭へと普及していきました。

翌年に東京オリンピックという大イベントを控えた1963年——初めて毎週30分の物語をつたえるテレビアニメが誕生します。それが手塚治虫原作『鉄腕アトム』です。この作品によってアニメは大ブームになり、各社がこぞって参入していきます。今日のアニメ大国の原点もこの時代にあるのです。

主人公のアトムがロボットだった影響で、続く作品も横山光輝原作『鉄人28号』や平井和正・桑田次郎（現：二郎）原作『エイトマン』など、ロボットがヒーローとして活躍するSFアニメが

数多くつくられました。

この時期は各国で宇宙開発も盛んで、日本の繁栄も幸福も、科学技術のもたらしたものと考えられていました。特に都会では、あっという間にビルが建ち、道路が舗装され、街並みがみるみるきれいになっていきました。機械じかけで外見がツルンとしたロボットは、そうした風景の変化を先どりするものとして、人気を得たのかもしれませんが。やがて60年代も後半になると、やはり手塚治虫原作の『マグマ大使』など特撮番組にもロボットが登場し、怪獣と戦い始めます。こうして1960年代に、後に発展するロボット映像文化の基礎が築かれたのでした。

1970年代—



「機動戦士ガンダム」 © 創通・サンライズ

主な作品

1. 改造人間キャシャーン
2. バビル2世
3. 勇者ライディーン
4. ゴワッパー&ゴードム
5. 超電磁ロボコン・バトラーV
6. 大空魔竜ガイキング
7. UFO戦士ダイアポロン
8. 無敵超人ザンボット3

9. ヤッターマン

10. 惑星ロボダンガードA

11. 機動戦士ガンダム

12. ドラえもん

1970年代にはいると、ロボットを扱ったアニメは、世界的にみてもユニークな進化をはじめます。変化のもとになったのは、1972年に放映された永井豪原作『マジンガーZ』でした。このヒットによって、『勇者ライディーン』や『UFO戦士ダイアポロン』など、各社からロボットアニメが発表され、さかんにテレビで流れるようになります。

それらは、以前のロボットアニメとは何が違っていただのでしょうか？ ひとつ目は「巨大であること」。ふたつ目は「人間が乗って操縦すること」。みつつ目は「変形や合体をするメカであること」。こうした特徴をもつロボットはSF小説の歴史にもなく、ここで開拓されたアニメ独自の文化と言えます。

このころ日本の社会では、急激に自動車が普及していきました。子どもたちにも、「自分で操縦できる乗り物」としてのロボットが、身近に感じられたのでしょう。このタイプは、やがて1979年の『機動戦士ガンダム』の登場で、メカニズムとしてより洗練され、リアルなものとして受け入れられていきます。

一方、アトムのように人格をもつロボットは、1979年にアニメ化された藤子不二雄F原作『ドラえもん』によって、熱いブームが起きます。いっしょに暮らす「ともだちロボット」というスタイルが、人気の秘密だったのでしょう。このように、1970年代はロボットアニメ文化がさらなる進化をとげる種まきが、いろんなかたちでなされていた時期なのです。

1980年代—

主な作品

1. 伝説巨神イデオン
2. 宇宙大帝ゴッドシグマ
3. 太陽の牙ダグラム
4. 戦国魔神ゴーショーグン
5. 百獣王ゴライオン
6. DR. スランプアラレちゃん
7. 六神合体ゴットマース
8. 機甲艦隊ダイラガー XV
9. 装甲騎兵ボトムズ
10. 銀河漂流バイファム
11. 光速電神アルベガス
12. マクロス
13. 超獣機神ダンクーガ
14. 忍者戦士飛影
15. マシンロボクロノス
16. ロボタン
17. 魔神英雄伝ワタル
18. トップをねらえ！
19. キテレツ大百科

80年代は、ロボットアニメがブームとなって数が増えた一種の「収穫期」と言えます。それまで蓄積してきたスタイルが、さまざまに組みあわさり発展していった時期です。

ブームを引っぱったのは、1981年から公開された劇場版『機動戦士ガンダム』でした。子どもだけでなく青年以上の層もロボットの模型をつくり、アニメを鑑賞することが不自然ではなくなりました。その客層を前提として、80年代前半には多種多様な作品群が発表されています。玩具の変形合体機構が高度化したのもこの時期です。3体から5体だった合体機体数も15体のメカが合体する『機甲艦隊ダイラガー XV』で記録を更新、

『超時空要塞マクロス』ではロボットがほとんど現実の戦闘機と変わらないメカに変形し、それを再現した玩具や模型が話題を呼びました。

80年代後半になると、社会環境の変化がロボットアニメにも影響を与え始めます。ビデオデッキの普及で、テレビ放送ではなくソフト発売用のアニメが発売されます。そこから『機動警察パトレイバー』や『トップをねらえ！』のようなヒット作が生まれました。また、米国では『トランスフォーマー』がブームとなり、玩具製造を担当した日本に逆輸入されます。これはトラックや銃器に変形する主人公のロボットたちが2つの陣営に分かれて戦う物語です。自分の意識をもって言葉をしゃべるキャラクターとして描かれたロボットが、新しい印象を残しています。

1990年代—



「新世紀エヴァンゲリオン」©GAINAX・カラー /ProjectEva.

主な作品

1. 勇者エクスカイザー
2. マクロス7
3. 新世紀エヴァンゲリオン
4. 小さな巨人ミクロマン

80年代中盤以後は、家庭用TVゲームが急速に普及して子ども文化に影響を与えていきます。

それは、仲間を集めて協力して敵を倒すRPGの登場により、豊かな物語性をもった新メディアに育ちました。

90年代のロボットアニメは、そのゲーム文化の強い影響を受けています。かつてのロボットファンも親の世代になり、小学生の主人公が復活。巨大ロボットを言葉を話す「友だちヒーロー」として扱う「勇者シリーズ」がこの時代の代表的なロボットアニメです。『小さな巨人マイクロマン』など、巨大さとは逆で手のひらサイズのロボットも話題を呼びますが、これもロボットと少年の距離が近くなり、友だちに変わった現れでしょう。

一方、作品それ自体の魅力を前面に打ち出したアニメも多く作られました。中でも1995年の『新世紀エヴァンゲリオン』は、一般層を巻きこんで社会現象的を起こしたメガヒット作です。ブームの秘密は物語を引っさげる「謎」ですが、その中心にも主役EVAの正体が置かれていて、このジャンルの頂点と言える作り込みが大評判を呼びました。

90年代はゲーム文化でも「スーパーロボット大戦」という、アニメに登場してきた歴代ロボットヒーローが一堂に会するシミュレーションRPGが大ヒット。並行してガンダムや勇者などシリーズが着実に作り続けられ、ロボットアニメはジャンルとして完全に定着した感があります。

2000年代——

主な作品

1. 破邪巨星ダンガイオー
2. 機動戦士ガンダム SEED
3. 時空冒険記ゼントリックス
4. きらめき☆プロジェクト
5. 創聖のアクエリオン
6. 交響詩篇エウレカセブン

7. コードギアス反逆のルルーシュ
8. 天元突破グレラガン
9. ぼくらの
10. GR-GIANTROBO
11. VEXILLE

かつてロボットは「21世紀という未来」への憧れの象徴でした。鉄腕アトム誕生が2003年に設定されているのが、何よりの証拠です。2000年代は、なんとと言ってもその21世紀が現実となったことが大きく作品に影響を与えています。現実世界の2003年にも、アトム誕生を記念して『アストロボーイ・鉄腕アトム』がリメイクされ、フィクションと現実がつながっています。

新聞、ニュースでも現実にも可動するロボットが大きく取りざたされるようになりました。かつてロボットと言えば工業用の非人間型を指しましたが、現実の21世紀でロボットと言えば、人はロボット犬 AIBO などペット型のを想像するのではないのでしょうか。日本では二足歩行のロボットを各社がこぞって開発し、世界中から注目を集めています。これもロボットアニメ文化の影響でしょう。

そのようにして現実の生活にロボットが入りつつある時代、アニメーションの世界でもこれまでも増して、いろんな年齢層に向け、いろんな切り口の新しいロボットアニメが作り続けられています。それはメディアを超え、国境を越え、全世界に拡大しつつあります。

親子2世代、あるいは3世代でロボットアニメを楽しみ、永遠の繰りかえしがスタートする時代——それが2000年代なのです。これから2010年代に向けて、どんなロボットが現れてくるのでしょうか？ それは、もしかしたらあなた自身が作るロボットかもしれませんね。

6 マスコミ&広報記録

広島アニメーションビエンナーレ2008

名称(敬称略)	月日	期間	曜日	掲載P・放送時間	タイトル・番組名	内容
中国新聞社	3.26		水	社 会 面	「アトムやガンダム集結」	3/25 記者会見(広島アニメーションビエンナーレ2008)
中国新聞社	4.5		土		「福山の高校生ら優秀賞」	4/4 みんなのライトノベル表彰式
中国新聞社	4.15		火		「優秀賞受賞でも自己採点は70点」	4/4 みんなのライトノベル表彰式
中国新聞社	4.23		水		「「中国州」の展望 具体策を提言へ」	広島経済同友会 事業計画
中国新聞社	6.11		水	社 会 面	「ロボットアニメ一堂に」	6/10 記者会見(ロボットアニメ EXPO チケット)
中国新聞社	6.29		日	芸 能 面	「島根の良さ さりげなく」	協賛事業(鷹の爪 THE MOVIE)監督インタビュー
中国新聞社	7.2		水	社 会 面	「街じゅうアニメポスターを募集」	7/1 記者会見(協賛事業)
中国新聞社	7.10		木	広 島 西	「アンパンマンに会いにおいで」	協賛事業(アンパンマン)
中国新聞社	7.11		金	広場 この人	「「動きのおもしろさ」追求し続ける」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル西本企良さん
中国新聞社	7.18		金	文 化 面	「アニメ制作 プロが講演」	7/20 広島市立大学公開講座
中国新聞社	7.18		金	ひ ろ し ま	「宮崎アニメ新作 ゆかりの軌」	協賛事業(崖の上のポニョ)
中国新聞社	7.18		金	社 会 面	「手塚特集や最新の短編」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル
中国新聞社	7.20		日	芸 能 面	「ロボット広島に立つ」	特集記事(ロボットアニメ EXPO)
中国新聞社	7.27		日	芸 能 面	「700 本アニメ共演」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル
中国新聞社	7.27		日	芸 能 面	「ビエンナーレ協賛3日から所蔵映像」	協賛事業(映像文化ライブラリー)
中国新聞社	7.29		火	社 会 面	「国際ガンダム学会 行きま〜す」	7/28 記者会見(国際ガンダム学会)
中国新聞社	7.30		水	ふ れ あ い	「ロボットアニメ EXPO」ペア 200 組を招待	ちゅーピーくらぶ チケットプレゼントパブ
中国新聞社	8.1		金	C U E	「60年代からの55作品が広島に勢ぞろい」	CUE チケットプレゼントパブ
中国新聞社	8.4		月	社 会 面	「ガンダム秘話 180 人沸く」	協賛事業(広島市立大学公開講座)
中国新聞社	8.6		水	広 島 都 市 圏	「メイドカフェ 店員が折り鶴」	協賛事業者(めいぷりてい) 関連記事
中国新聞社	8.6		水	ふ れ あ い	「筆の里工房で美術サロン」	協賛事業(アンパンマン)
中国新聞社	8.8		金	く ら し	「木下小夜子さんに聞く」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル
中国新聞社	8.8		金	社 会 面	「世界のアニメに浸る夏」	ロボットアニメ EXPO 開幕
中国新聞社	8.9		土	広 島 西	「「やなせ」展に来場者 1 万人」	協賛事業(アンパンマン)
中国新聞社	8.11		月	呉・東 広 島	「大きくて優しい手だね」	協賛事業(アンパンマン)
中国新聞社	8.11		月	社 会 面	「水木ロード 1000 万人突破」	協賛事業(妖怪ぞっくりコンテスト)
中国新聞社	8.12		火	社 会 面	「「カフカ 田舎医者」を選出」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル
中国新聞社	8.14		木	事業ガイド	「どんなキティに会えるかな」	協賛事業(KITTY.EX)
中国新聞社	8.15		金	広 島 都 市 圏	「広島に『アニメ留学』」	第12回広島国際アニメーションフェスティバル
中国新聞社	8.16		土	社 会 面	「入場者 1 万人突破」	ロボットアニメ EXPO 入場者 1 万人
中国新聞社	8.17		日	芸 能 面	「アニメソング一緒に歌おう」	協賛事業(アイラブひろしま)
中国新聞社	8.23		土	社 会 面	「2万人の笑顔「合体」広島のロボアニメ展」	ロボットアニメ EXPO 入場者 2 万人
中国新聞社	8.25		月	広 島 都 市 圏	「アニメで賞」16 作品を表彰	協賛事業(ひろしま街じゅうアニメーションで賞)
中国新聞社	8.25		月	社 会 面	「ガンダムの世界を探る」	協賛事業(国際ガンダム学会準備会議)
中国新聞社	8.28		木	中 国 経 済	「アニメで地域振興策探る」	協賛事業(知財シンポジウム)
共同通信社	7.28		月	信濃毎日8/2など	広島でアニメの祭典	広島アニメーションビエンナーレの開催前触れ
共同通信社	8.23		土	南日本新聞など	「ガンダム」学術的に研究	広島であすシンポ
共同通信社	8.24		日	茨城新聞など	広島でガンダムのシンポ	国際学会の設立へ向けて
中国放送	3.25		火	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	3/25 記者会見(広島アニメーションビエンナーレ2008)
中国放送	4.4		金	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	4/4 みんなのライトノベル表彰式
中国放送	6.10		火	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	6/10 記者会見(ロボットアニメ EXPO チケット)
中国放送	7.1		火	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	7/1 記者会見(協賛事業)
中国放送	7.1		火	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	協賛事業(アンパンマン)
中国放送	7.28		月	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	7/28 記者会見(国際ガンダム学会)
中国放送	7.30		水	18:39 ~	イブニング・ニュース広島	ロボットアニメ EXPO 街頭 PR 活動
中国放送	8.7		木	18:16 ~	イブニング・ニュース広島	ロボットアニメ EXPO 開幕
中国放送	8.15		金	18:54 ~	イブニング・ふぉー	ロボットアニメ EXPO 開催中
広島テレビ放送	7.25		金	10:55 ~	もっきんcafe	チケットプレゼントパブ
広島テレビ放送	7.28		月	16:43 ~	旬感★テレビ派ッ!	ひろしま街じゅうアニメーションで賞 紹介

広島アニメーションビエンナーレ2008

名称(敬称略)	月日	期間	曜日	掲載P・放送時間	タイトル・番組名	内 容
広島テレビ放送	8.7		木	18:37~	旬感★テレビ派ッ!	ロボットアニメ EXPO 開幕
広島ホームテレビ	5.26		月	16:50~	Jステーション	アニメフェスタ作品決まる
広島ホームテレビ	7.1		火	16:50~	Jステーション	7/1 記者会見(協賛事業)
広島ホームテレビ	7.26		土	11:05~	驚き桃の木ナオキの樹	チケットプレゼントパブ
広島ホームテレビ	7.28	~	-	-	HP内プレゼント	チケットプレゼントパブ
広島ホームテレビ	7.28		月	16:50~	Jステーション	7/28 記者会見(国際ガンダム学会)
広島ホームテレビ	8.7		木	18:29~	Jステーション	ロボットアニメ EXPO 開幕
広島ホームテレビ	8.15		金	20:54~	ホームテレビニュース	ロボットアニメ EXPO 1万人突破
広島ホームテレビ	8.24		日	17:30~	スーパーJチャンネル	ガンダム学会設立準備会議
広島ホームテレビ	9.27	予定	土	25:50~	ホビーの匠	今敏氏インタビュー
テレビ新広島	5.26		月	17:54~	スーパーニュース	百々事務局長インタビュー
テレビ新広島	7.30		水	09:55~	ひろしま満点ママ!!	チケットプレゼントパブ
テレビ新広島	7.30		水	17:54~	スーパーニュース	ロボットアニメ EXPO 街頭 PR 活動
テレビ新広島	8.7		木	18:16~	スーパーニュース	ロボットアニメ EXPO 開幕
テレビ新広島	8.15		金	18:32~	スーパーニュース	ロボットアニメ EXPO 入場者1万人
テレビ新広島	8.27		水	17:54~	スーパーニュース	協賛事業(知的財産シンポジウム)
テレビ新広島	8.27		水	23:30~	ニュース JAPAN	協賛事業(知的財産シンポジウム)
NHK広島放送局	4.5		土	07:30~、12:10~	おはよう中国、昼ニュース	4/4 みんなのライトノベル表彰式
NHK広島放送局	8.7		木	12:00~	昼ニュース	第12回広島国際アニメーションフェスティバル 開幕
NHK広島放送局	8.8		金	06:45~	おはよう625	第12回広島国際アニメーションフェスティバル 開幕
ふれあいチャンネル	6.27	~7/3	-		ニュースの窓	特集(広島アニメーションビエンナーレ2008)
ふれあいチャンネル	7.14	~7/20	毎日		地元ツウ	7/1 記者会見(協賛事業)
ふれあいチャンネル	8.7	・8/17	木・日	木14:00~、日21:00~	協賛事業「アニマックス夏休みスペシャル」放映	マクロスF、機動戦士Zガンダムほか放映
ふれあいチャンネル	8.7	~8/18	毎日	4回 / 日	ロボットアニメ EXPO 開幕	ロボットアニメ EXPO 開幕
ふれあいチャンネル	8.8	~8/19	毎日	30秒×合計46回	アニメーションビエンナーレ開催中告知	ロボットアニメ EXPO 開催(ふれあい独自制作)
ひろしまケーブルテレビ	7.4	~7/7	毎日	14:00~他1日6回	HICAT ほっとニュース	7/1 記者会見(協賛事業)
ひろしまケーブルテレビ	8.1	~8/18	毎日	14:00~他1日6回	HICAT ほっとニュース	チケットプレゼントパブ
ひろしまケーブルテレビ	8.8	~8/11	毎日	14:00~他1日6回	HICAT ほっとニュース	オープニングセレモニー(ビエンナーレ+アニメフェス)
ひろしまケーブルテレビ	8.11	~8/18	毎日	10:00~と17:30~2回	協賛事業「ユニコ」放映	他の協賛事業の告知も
ひろしまケーブルテレビ				土日限定1日2回	ふれあいチャンネルの「地元ツウ。」	*「HICATほっとニュース」と交換、相互で放送
RCCラジオ	7.11		金	13:00~	RCCラジオ 本名正憲のきょうもゴゴイチ	百々事務局長出演(ロボットアニメ EXPO)
RCCラジオ	7.31		木	15:05~	RCCラジオ さくらの全力投球	百々事務局長出演(国際ガンダム学会準備会議)
RCCラジオ	8.10		日	10:20~	RCCラジオ 伊藤文のサンデー!Sunday!	百々事務局長出演(ロボットアニメ EXPO開催中)
RCCラジオ	8.20		水	13:20~	RCCラジオ 本名正憲のきょうもゴゴイチ	百々事務局長出演(国際ガンダム学会準備会議)
広島エフエム放送	7.22		火	17:00~	Vibe ON! MUSIC	百々事務局長出演(ロボットアニメ EXPO)
広島エフエム放送	8.8		金	09:10~	モーニング・アライブ	ロボットアニメ EXPO 開幕
広島エフエム放送	8.11		月	15:20~	オーバー・ザ・レインボー	百々事務局長出演(ロボットアニメ EXPO開催中)
広島エフエム放送	8.15		金	14:30~	GO GO La GOO★	ロボットアニメ EXPO 入場者1万人
広島エフエム放送	8.20	~8/21	水・木	水21:22~、木21:38~	9ジラジ	国際ガンダム学会準備会議 開催告知
広島エフエム放送	8.25		月	07:45~	モーニング・アライブ	国際ガンダム学会準備会議 開催
広島エフエム放送	8.25		月	21:10~	9ジラジ	国際ガンダム学会準備会議 取材報告
FMちゅーピー	7.10	~8/21	木	15:00~x全7回	広島すまいるパフェ	百々事務局長ほか出演
C-vision八丁堀	7.5	~8/6	毎日	07:00~23:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	前売件発売中
C-vision八丁堀	8.7	~8/26	毎日	07:00~23:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	開催中
C-vision広島駅	7.5	~8/26	毎日	07:00~23:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	前売件発売中
C-vision広島駅	8.7	~8/26	毎日	07:00~23:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	開催中
N A V I A	7.9	~8/6	毎日	08:00~22:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	前売件発売中
N A V I A	8.7	~8/26	毎日	08:00~22:00	ロボットアニメ EXPO 15秒CF	開催中

「広島アニメーション ビエンナーレ2008」 街じゅうアニメ ポスターを募集

「広島アニメーションビエンナーレ2008」の実行委員会は一日、七月から八月末にかけて開かれる六十のビエンナーレ協賛事業を発表した。メインは「ひろしま街じゅうアニメーションで賞」。広島の民話や伝説を題材にアニメにちなんだフィギュアやポスターなどを募集する。

中国新聞 平成20年7月2日(水) 朝刊

募する。八月七日から広島市中区の広島国際学院大立町キャンパスに展示。公開審査して二十四日に表彰する。

広島交響楽団が演奏する「茂木大輔の生で聴くのためカンタービレの音楽会」や、アニメソングを歌う「アニメソングイベントライブひろしま」もある。実行委は、アニメに関連した各地のイベントに協力を呼び掛け、境港市の水木しげる記念館が主催する「妖怪

そっくりコンテスト」だった。広島アニメビエンナーレ事務局 ☎082(249)8901。(里田明美)

ロボットアニメ一堂に

広島のビエンナーレ「EXPO」

「広島アニメーションビエンナーレ2008」の実行委員会は十日、メインの「ロボットアニメEXPO」の詳細を発表した。一九六三年の「鉄腕アトム」から二〇〇七年の「ベクシル」まで五十五作品のフィギュアなどを展示する。「EXPO」は八月七一〜二六日、広島市南区の福屋広島駅前店で開かれる。「鉄腕アトム」のほか、「鉄人28号」「ドラえもん」「キテレツ大百科」「新世紀エヴァンゲリオン」など年代順に展示し、アニメ映像も流

8月 フィギュア展示や映像公開

す。制作会社の枠を超えて、日本を代表するロボットアニメが一堂にそろうのは珍しい。広島市立大では公開講座「広島アニメーションアカデミー」を開催中。四回目となる八月三日は「機動戦士ガンダム」のキャラクターデザインを手掛けた安彦良和さんが講師を務める。聴講は無料。「EXPO」の前売り券は十一日から売り出す。料金は三歳以上五百円。当日券は六百円。実行委事務局 ☎082(249)8901。(里田明美)

中国新聞 平成20年6月11日(水) 朝刊

第十二回広島国際アニメーションフェスティバル(広島市など主催)が七日、広島市中央区のアステールプラザで開幕した。十一日までの五日間に、世界の優れた短編やディズニ、ピクサーの日本初公開作品など約七百人を上映する。

(21面に関連記事)

開会式ではポール・ドリエセン国際名誉会長が「フェスティバルは良い作品を生み出すチャンス。創作への意欲を燃やしてほしい」とあいさつ。五十六カ国・地域から千六百五十六点の応募があり、一次選考を通過した

世界のアニメに浸る夏

七十六作品の審査も前店で始まった。初日は、山村浩二さんの「カフカ人28号」に始まるロボ田舎医者」を含む十八作品を審査。最終日の十一日にグランプリなどの結果が発表される。像を上映し、ロボットのフィギュアも飾った。

期間中、手塚治虫生誕八十年の記念特集入り口には二層を

広島で国際フェスタ開幕

ど五十三の特別プログラムも予定している。グラフィックも予定している。グラフィックも予定している。グラフィックも予定している。

アニメフェスティバルに合わせて、「広島アニメーションピエン」で。

「ナレ2008」のメインイベント、ロボットアニメEXPOも七日、南区の福屋広島駅前店

動画は中国新聞HPで読者会員限定



ロボットアニメEXPOの会場で、作品の映像を楽しむ入場者＝広島市南区の福屋広島駅前店(撮影・今田豊)

ガンダムの世界を探る

広島で学会
準備会議

人気アニメ「機動戦士ガンダム」の世界を研究する「国際ガンダム学会」の設立準備会議が二十四日、広島市中区のアステールプラザで開かれた。大学の研究者やファンら約百人が参加。ガンダムに描かれた未来世界をさまざまな分野から研究する可能性を探った。

言語学や医学・心理学などの研究者ら四人が発表。広島大大学院先端物質科学研究科の高橋徹准教授は、アニメに登場する宇宙空間

の人工居住地「スペースコロニー」と、その建設に必要な技術を素粒子物理学の面から解説し、「ガンダムには物理学が切り開く未来が描かれている」と強調した。

同準備会議は来年、第一回の学会を広島で開く計画を進めている。(里田明美)

人気アニメ「機動戦士ガンダム」を題材にした世界初の「国際ガンダム学会」が八月二十四日に発足し、広島市中区のアステールプラザで記念シンポジウムを開く。広島アニメーションヒエンナール実行委が二十八日、発表した。世界中の研究者が、ガンダムを通して見える人類の未来を研究、議論する。

シンポジウムでは、基調講演
予定。今後、各地で年一
別教授、副会長には小説
家でもある瀬名秀明・東
北大特任教授が就任する
類との対立を描く。人間
社会

ガンダム学会 行きます

来月 広島で旗揚げシンポ



学や文学の研究につながる。人物描写などが見られ、橋爪教授は「人類の未来について、ガンダムは早い時期に問題提起している。そこに意味があり、学際的な研究が可能」と話す。

一般の聴講も可能だが、申し込みや基調講演などの詳細は広島アニメーションヒエンナールのホームページで八月七日前発表される。ヒエンナール事務局 ☎082(249)8901。(里田明美)

ガンダム秘話180人沸く

広島市立大 漫画家安彦さん講演



安彦良和さん

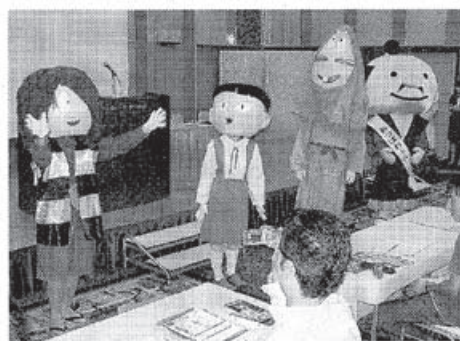
インした漫画家の安彦良和さん(60)が三日、広島市安佐南区の広島市立大で講演した。約百八十人が創作の舞台裏に聞き入った。会場で、テレビ放映映像をあらためて上映。「つたない表現も」から、玩具メーカー

ボットの合体シーンをわざわざ盛り込んだこともあったと回想。「声優が足りず複数の役を掛けもちしていた」と裏話を語り、聴衆を沸かせた。講演会は、広島アニメーションビエンナーレ協賛事業として催された。(里田明美)

中国新聞 平成20年8月4日(月) 朝刊

アニメで地域振興策探る

——広島市南区でシンポ



「鬼太郎」など活用

九三年の開設以来、見学者が累計二千万人を超えたと報告。「妖怪の世界が奥深く、イベント案がいくつでも出た」と素材の重要性を説いた。

会場に登場した「ゲゲゲの鬼太郎」などキャラクターの着ぐるみ

コンテンツ活用で課題となるのが著作権。討議では「利用法をめぐる制作者との摩擦を防ぐため、協定締結などが不可欠」「権利者への貢献にもつながる企画を考え、良い関係を保つ努力を」などの意見が目立った。討議に先立ち、慶応大大学院メディアデザイン研究科の中村伊知哉教授が講演。「ゲゲゲの鬼太郎」、松江開府四百年祭のキャラクター「あっぱれくん」などの着ぐるみも現れ、会場を盛り上げた。(奥田美奈子)

アニメキャラクターや地元ゆかりの人物などのコンテンツ(情報の内容)を生かした地域振興策を考えるシンポジウムが二七日、広島市南区のホテルであった。中国経済産業局主催。観光協会や商工会の役員たち五人がパネル討議し、市民ら約百十人が参加した。「水木しげるロード」で知られる境港市観光協会の榎田知身会長は一九

中国ブロック経済

中国新聞 平成20年8月28日(木) 朝刊

平和やコイ広島アピール

「アニメで賞」 16作品を表彰

広島市の歴史や文化をテーマに、アニメやボスターなどを募集した「ひろしま街じゅうアニメーションで賞」の表彰式が二十四日、広島市南区の百貨店であった。平和やコイなどを題材にした独創的な七十点が集まり、大賞や部門賞などに十六点が選ばれた。

(奥田美奈子)



大賞代表のから表彰状を受け取る、大賞グループ代表の上本さん

市内で開催中の「広島市民団体「Habyk 島アニメーションビエラフ」が主催。穴吹テシナール」に合わせ、

市内で開催中の「広島市民団体「Habyk 島アニメーションビエラフ」が主催。穴吹テシナール」に合わせ、

市内で開催中の「広島市民団体「Habyk 島アニメーションビエラフ」が主催。穴吹テシナール」に合わせ、

「平安祭典」
2020年8月11日

た現代人をあざ笑う過去の人々の心象風景を描いた作品で、Habykクラブの大橋啓一代表は「平和に対する若者の率直な感情が感じられた」と評価。代表で賞状を受け取った上本さんは「三人が協力したから、いい作品になったと喜んでいました。部門賞の受賞者は次

中国新聞 平成20年8月25日(月) 朝刊

のみなさん。(敬称略)
【手作りバナー】中

山達貴、中山誠樹、中山愛理【創作ボスター】
吉川玲奈【ウインドウ
フィギュア】長崎裕子、
宇都宮智【創作料理・
菓子】田辺大成【アニ
メ】宮迫慎

アニメソング 一緒に歌おう

広島で24日ライブ

アニメソングばかりのライブ「コアアニメソングイベントひろしま」が二十四日午後二時から、広島市南区三川町の「HIROSHI MA BACK BEAT」である。

メイド衣装の女性ユニット「おこさまらんち」をはじめ、アニメソングを中心に演奏しているアマチュアバンド六組が出演し、約三十曲を歌う。

広島アニメーションビエラフ協賛事業の一つ。千円(ドリンク別)。猫本さん ☎080(6315)9777。

中国新聞 平成20年8月17日(日) 朝刊

7 事務局活動記録

広島アニメーションビエンナーレ2008

(敬称略)

月 日	実 施 事 項	実 施 内 容 等
1月15日	第1回実行委員会	2008実行委員会発足
3月12日	共催・後援依頼書 発送	
3月25日	記者発表(2008開催概要)	広島市政記者クラブにて
3月27日	東京国際アニメフェア2008にて記者発表	
4月1日	事務局スタッフ体制	広島電鉄、広島ガス、中国放送、中国新聞社の計4名
4月4日	「みんなのライトノベルコンテスト」表彰式	広島国際学院大学立町キャンパスにて
4月24日	協賛事業参加申込 受付開始	
5月3日～5月5日	2008ひろしまフラワーフェスティバル参加	クレイアニメーション ワークショップ実施
5月8日	第1回常任委員会	組織販売各社割当て調整
5月28日	第1回事業実施総合会議 開催	福屋広島駅前店にて会場施工・運営方法等打合せ
6月1日	広島市立大学公開講座 講師：ラレコ氏	「やわらか戦線異常なし」受講者数92名
6月3日	第1回広報部会	
6月10日	記者発表(チケット販売他)	広島市政記者クラブにて
6月12日	チケット前売券販売開始	福屋広島駅前店・八丁堀本店、デオデオ本店、プレイガイド
6月24日	第1回事業実施部会	協賛事業団体への説明会
6月25日	新聞広告掲載開始	中国新聞朝刊へ半5段広告掲載 全10回掲載
6月25日	チケット前売券(JTB)販売開始	
6月25日～	福屋割引券配布開始	DM封入60000枚
7月1日	記者発表(協賛事業)	市政記者クラブにて 協賛各団体出席
7月1日	懸垂幕設置(福屋八丁堀本店)	
7月5日	街頭ビジョン(C-Vision)放映開始	八丁堀、広島駅
7月7日	チケット前売券(JR)販売開始	
7月9日	街頭ビジョン(NAVIA)放映開始	
7月10日	テレビCM放映開始	民放4局
7月10日	広島市私立幼稚園へチラシ発送	89幼稚園で約18000枚配布
7月11日	電車中吊り広告開始(JR)	専用中吊りポスター 600枚
7月13日	広島市立大学公開講座 講師：今敏氏	「十年の土産」受講者数162名
7月14日	広島市立幼稚園・小・中学校へチラシ発送	幼稚園・小・中学校計231校で約120000枚配布
7月15日	電車中吊り広告開始(広島電鉄)	中吊りポスター 1600枚
7月17日～	テレビ民放4局・HFM・中国新聞社へ協力依頼	川島広報部会長・電通西日本と同行訪問
7月17日	ラジオCM放送開始	RCC、HFM、FMちゅーピー
7月20日	中国新聞に特集記事掲載	

広島アニメーションビエンナーレ2008

(敬称略)

月 日	実 施 事 項	実 施 内 容 等
7月20日	広島市立大学公開講座 講師：東 不可止氏	「アニメプロデューサーのお仕事」 受講者数42名
7月22日	第2回事業実施総合会議 開催	福屋広島駅前店にて会場施工・運営方法等打合せ
7月25日	第2回常任委員会	
7月28日	記者発表（国際ガンダム学会準備会議）	広島市政記者クラブにて
7月29日	第2回広報部会	
7月29日	タクシー共同チケット加盟各社へチラシ送付	25社で約16000枚設置
7月31日	街頭 PR 活動	パルコ前にてロボットアニメ EXPO のチラシ配布
8月2日～8月17日	「きかんしゃトーマスロード島フェスティバル きみも鉄道員だ!!」	NTT クレドホールにて
8月3日	広島市立大学公開講座 講師：安彦良和氏	「70年代のアニメとガンダム」 受講者数178名
8月3日～8月17日	こどもミニシアター	広島市映像文化ライブラリー
8月5日～8月17日	夏休み特集 家族でシネマ2008	広島市映像文化ライブラリー
8月6日	懸垂幕設置（福屋広島駅前店）	
8月6日	立て看板設置（JR 広島駅構内）	広島駅南口出口改札横に開催期間中設置
8月7日～8月11日	第12回広島国際アニメーションフェスティバル	広島アステールプラザにて 手塚治虫回顧上映ほか
8月7日	ロボットアニメ EXPO 開幕	オープニングセレモニー開催 藤田広島県知事ほか
8月7日・8月17日	アニマックス夏休みスペシャル! 放送	ふれあいチャンネル マクロスF、機動戦士Zガンダム他放映
8月8日～8月24日	かみちゅ!展 ～尾道にみるアニメの原風景～ 開幕	尾道商店街（尾道市）
8月9日～8月10日	親子で作ろう! 模型体験コーナー	福屋広島駅前店6F マルチの広場 親子340組が参加
8月9日～8月10日	ミニ四駆大会 & アニメプラモデル展示	マリーナホップ特設会場にて
8月11日～8月17日	手塚治虫氏生誕80周年記念「ユニコ魔法の島」放送	HICAT コミュニティチャンネル
8月15日	ロボットアニメ EXPO 入場者1万人達成	
8月22日	ロボットアニメ EXPO 入場者2万人達成	
8月22日～8月24日	「親子で楽しむNHK夏休み親子アニメ上映会」	NHK 広島放送局ハイビジョンシアターにて
8月23日	アリスガでアニメナイト2008	Haby クラブによるアリスガーデンイベント
8月24日	アニソンイベントライブ アイラブひろしま	アニメソングを集めたライブイベント HIROSHIMA BACK BEATにて
8月24日	国際ガンダム学会準備会議 開催	広島アステールプラザ市民ギャラリーにて
8月24日	2008街じゅうアニメーションで賞 表彰式	福屋広島駅前店6F マルチの広場にて
8月26日	ロボットアニメ EXPO 閉幕	最終入場者数27680人
8月27日	知的財産シンポジウム「コンテンツ活用した地域振興とビジネス展開」	ホテルグランヴィア広島悠久の間にて
9月3日	記者発表(アニメ制作コンペ、コンテンツプロデュースセミナー)	広島商工会議所
9月11日	第2回実行委員会	2008事業報告

8 協賛事業

(1) 協賛事業一覧表

番号	事業名	開催期間	開催場所/時間	主催	参加人数
1	アリスガでアニメナイト2008	2008/08/23(土)	アリスガーデン 19:15		200
2	2008年 「ひろしま街じゅうアニメーションで賞」	募集期間 2008/07/07(月)	《展示場所》 広島市および周辺市町の市街地 《表彰式》 福屋広島駅前店6階映像広場	Haby クラブ	160
3	知的財産シンポジウム 「コンテンツを活用した地域振興と ビジネス展開」	2008/08/27(水)	ホテルグランヴィア広島 悠久の間 13:30	中国経済産業局	103
4	広島市映像文化ライブラリー 夏休み特集 家族でシネマ2008	2008/08/05(火)	広島市映像文化ライブラリー ホール・試写視聴室	広島市映像文化ライブラリー	504
5	広島市映像文化ライブラリー こどもミニシアター	2008/08/03(日)	広島市映像文化ライブラリー 試写視聴室		
6	秘密結社 鷹の爪 THE MOVIE II	2008/06/28(土)	TOHO シネマズ緑井		495
7	ポケットモンスター/ ダイヤモンド&パール 「ギラティナと氷空の花束 シェイミ」	2008/07/19(土)	アルパークシネマ ワーナー・マイカル・シネマズ広島 TOHOシネマズ緑井/広島バルト11		61,235
8	崖の上のポニョ	2008/07/19(土)	広島宝塚 ワーナー・マイカル・シネマズ広島 TOHOシネマズ緑井/広島バルト11		178,431
9	カンフー・パンダ	2008/07/26(土)	広島スカラ座 ワーナー・マイカル・シネマズ広島 TOHOシネマズ緑井/広島バルト11		28,639
10	それいけ! アンパンマン 妖精リンリンのひみつ	2008/07/12(土)	TOHOシネマズ緑井 広島バルト11		5,661
11	NARUTO 疾風伝 一絆一	2008/08/02(土)	アルパークシネマ TOHOシネマズ緑井 広島バルト11		17,009
12	スカイ・クロラ	2008/08/02(土)	ワーナー・マイカル・シネマズ広島 広島バルト11		6,631
13	ホートン ふしぎな世界のダレダーレ	2008/07/12(土)	広島バルト11		251
14	スターウォーズ/クローン・ウォーズ	2008/08/23(土)	ワーナー・マイカル・シネマズ広島 TOHOシネマズ緑井/広島バルト11 広島ルーブル		2,540
15	「親子で楽しむ NHK夏休み親子アニメ上映会」	2008/08/22(金)	NHK 広島放送局 4Fハイビジョンシアター	NHK 広島放送局	250
16	茂木大輔の生で聴く のだめカンタービレの音楽会 Lesson 1 広島公演	2008/08/28(木)	広島厚生年金会館 18:30	テレビ新広島	2,000
17	手塚治虫氏生誕80年記念 「ユニコ 魔法の島へ」放送	2008/08/11(月)	HICAT コミュニティチャンネルにて 1日2回放送	HICAT ひろしま ケーブルテレビ	-
18	“アニマックス”夏休みスペシャル!	2008/08/07(木) 2008/08/17(日)	ふれあいチャンネル 「コミュニティスペシャル」にて放送	ふれあいチャンネル	-
19	アニソン イベント ライブ ひろしま	2008/08/24(日)	HIROSHIMA BACK BEAT 14:00	アイラブひろしま 実行委員会	97
20	ミニ四駆大会& アニメプラモデル展示	2008/08/09(土)	広島フェスティバル・アウトレット マリーナホップ 10:00	広島エアフォース	1,040
21	かみちゅ!展	2008/08/08(金)	尾道商店街(尾道市) 10:00	かみちゅ!展実行委員会	2,251
22	リーガロイヤル サマーフェスティバル2008	2008/08/10(日)	リーガロイヤルホテル広島 3階・4階 15:00	リーガロイヤルホテル広島	9,000
23	2008年クレドホール夏休みイベント 「きかんしゃトーマスソドール島 フェスティバル きみも鉄道員だ!!」	2008/08/02(土)	NTTクレドホール (広島・基町クレド11F) 10:00	広島テレビ きかんしゃトーマスソドール島 フェスティバルイベント 実行委員会	23,000

番号	事業名	開催期間	開催場所/時間	主催	参加人数
24	図書展示 「アニメーションはおもしろい！」	2008/08/01(金)	広島市中区図書館 閲覧室 10:00	広島市中区図書館	11,141
25	「広島国際アニメーションフェスティバル」ポスター展	2008/07/01(火)	広島市まんが図書館 《ポスター展》1階玄関ホール 10:00	広島市まんが図書館	43,391
26	図書資料展示 「横山光輝・鉄人28号 特集」		広島市まんが図書館 《図書展示》2階ふれあいルーム 10:00		
27	広島国際学院大学 体験!わくわくアニメーション	2008/08/24(日)	広島国際学院大学 立町キャンパス ①10:00	広島国際学院大学 情報デザイン学部 情報デザイン学科	30
28	イギリス人形アニメーションの現場 @広島	2008/08/30(日)	広島国際学院大学 立町キャンパス 14:00	「イギリス人形アニメーションの現場@広島」実行委員会	32
29	みんなだいすきアンパンマン やませたかしの世界	2008/07/09(水)	筆の里工房 (安芸郡熊野町)	勅筆の里工房振興事業団	21,802
30	『新世紀エヴァンゲリオン：序』 特集	2008/08/19(火)	ライブ楽座 (中区立町6-1 立町ウィング BF1-A) 20:00	NPO法人セトラひろしま	20
31	ニュータイプカフェ@めいぷりてい	2008/08/29(金)	カフェめいぷりてい 11:00	カフェめいぷりてい	400
32	国際ガンダム学会準備会議	2008/08/24(日)	アステールプラザ市民ギャラリー	国際ガンダム学会 準備会議事務局	130
33	子ども映画会	2008/08/21(木)	東区 / 福田公民館 / 研修室 9:30	福田公民館	49
34	公民館学習会 中沢啓治さんが語るカープ誕生物語「かつ 飛ばせ!ドリーマーズ」上映会(仮題)	2008/08/31(日)	東区 / 二葉公民館 / 研修室1 15:00	二葉公民館	70
35	河童伝説紙芝居展	2008/08/18(月)	南区 / 楠那公民館 南区スポーツセンターふれあいギャラリー	楠那公民館	2,938
36	平和アニメ上映&平和のつどい	2008/07/30(水)	南区 / 楠那公民館 / 大集会室 10:00		120
37	子ども映画会	①2008/08/09(土) ②2008/11/29(土) ③未定	南区 / 大河公民館 ①2階大集会室 ②3階大集会室 ③皆実保育園	大河公民館	①→ 23
38	ちょこっと夏祭り	2008/08/22(金)	南区 / 旭三丁目会館 19:00		39
39	子どもわくわく広場	2008/08/21(木)	南区 / 似島公民館 / 研修室1 13:00	似島公民館	23
40	子ども映画会	2008/07/30(水)	西区 / 古田公民館 / 研修室1 13:30	古田公民館	69
41	子ども映画会	①2008/07/10(木) ②2008/07/12(土) ③2008/09/04(木) ④2008/09/06(土) ⑤2008/09/18(木)	①西区 / 井口児童館14:30	井口公民館	①②→ 113
42	子ども平和アニメ上映会	2008/08/01(金)	西区 / 己斐上公民館 / 研修室2 13:30	己斐上公民館	25
43	サマーランド映画会	2008/08/04(月)	安芸区 / 阿戸公民館 / 研修室1 11:00	阿戸公民館	36
44	平和アニメ映画会	2008/08/02(土)	安芸区 / 船越公民館 / 大集会所 13:30	船越公民館	21
45	子どもシアター	2008/08/01(金)	安佐南区 / 東野公民館 / 研修室1 10:30	東野公民館	30
46	アニメ映画上映	①2008/07/29(火) ②2008/07/31(木) ③2008/08/01(金)	安佐北区 / 久地南児童館、安佐 公民館	安佐公民館	68
47	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/23(水)	佐伯区 / 彩が丘公民館 13:30	彩が丘公民館	5

番号	事業名	開催期間	開催場所/時間	主催	参加人数
48	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/24(木)	佐伯区/五月が丘公民館 10:00	五月が丘公民館	6
49	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/24(木)	佐伯区/八幡公民館 13:30	八幡公民館	43
50	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/25(金)	佐伯区/五日市公民館 10:00	五日市公民館	40
51	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/25(金)	佐伯区/五日市中央公民館 13:30	五日市中央公民館	25
52	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/26(土)	佐伯区/八幡東公民館 9:30	八幡東公民館	11
53	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/26(土)	佐伯区/みどり会館 10:00	湯来西公民館	18
54	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/26(土)	佐伯区/津伏集会所 13:30	湯来西公民館	17
55	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/26(土)	佐伯区/吉見園公民館 10:00	吉見園公民館	8
56	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/26(土)	佐伯区/美隅公民館 13:30	美隅公民館	6
57	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/27(日)	佐伯区/利松公民館 10:00	利松公民館	12
58	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/28(月)	佐伯区/河内公民館 10:00	河内公民館	89
59	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/28(月)	佐伯区/楽々園公民館 13:30	楽々園公民館	7
60	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/30(水)	佐伯区/石内公民館 13:30	石内公民館	37
61	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/30(水)	佐伯区/坪井公民館 13:30	坪井公民館	19
62	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/30(水)	佐伯区/美鈴が丘児童館 15:00	美鈴が丘公民館	39
63	佐伯区ピースシネマ・ウィーク	2008/07/30(水)	佐伯区/五日市観音西児童館 15:00	観音台公民館	60
64	妖怪ぞっくりコンテスト	募集期間 2008/06/03(火)	最終審査会場: 夢みなとタワー(鳥取県境港市) 13:00	妖怪ぞっくりコンテスト 実行委員会 (水木しげる記念館)	546
65	ハローキティとアートファッションの 幸福なコラボレーション展 KITTY EX.	2008/07/18(金)	島根県立石見美術館 (島根県益田市) 10:00	島根県立石見美術館 (※人数:8月末時点)	7,828
66	体験!ギャートルズの世界	2008/08/02(土)	島根県 (島根県松江市)	松江開府400年祭 推進協議会	306
67	広島市立大学芸術学部公開講座 「広島アニメーションアカデミー2008」 第1回 ラレコ氏 『やわらか戦線異常なし』	2008/06/01(日)	広島市立大学 小ホール 13:30	広島アニメーションアカデミー	92
68	広島市立大学芸術学部公開講座 「広島アニメーションアカデミー2008」 第2回 今敏氏 『十年の土産』	2008/07/13(日)	広島市立大学 小ホール 13:30	広島アニメーションアカデミー	162
69	広島市立大学芸術学部公開講座 「広島アニメーションアカデミー2008」 第3回 東 不可止氏 『アニメプロデューサーのお仕事』	2008/07/20(日)	広島市立大学 小ホール 13:30	広島アニメーションアカデミー	42
70	広島市立大学芸術学部公開講座 「広島アニメーションアカデミー2008」 第4回 安彦良和氏 『70年代のアニメとガンダム』	2008/08/03(日)	広島市立大学 小ホール 13:30	広島アニメーションアカデミー	178
協賛事業計					429,663

(2) おもな協賛事業

主 催	H a b yクラブ
イベント名	ひろしま街じゅうアニメーションで賞
開催日程	2008年8月27日(水) 13:30～16:30
総来場者数	参加作品数:70作品 表彰式観客:約160人
会期中の様子	<p>■ 事業概要</p> <p>私たちハビークラブは、広島の地で二年に一度の恒例行事となったアニメーションフェスティバルや2004年から広島経済界が、アニメーションを活かした街おこしとして取り組み始めたアニメーションピエンナーレの二つの事業を応援し、「アニメーションを広島の文化として盛り上げようとする市民サポーター組織」です。2004年3月に結成し、会員数は現在約60名となっています。ハビークラブでは結成以来、アニメーション作家との交流会、アニメーション作品の鑑賞などを行う「H a b yクラブのタベ」や「クリエイターズ・カフェ」、また、都心のアリスガーデンでビルの壁面にアマチュアのアニメーション作品を上映する「アリスG(ガ)でアニメナイト」などを開催してきました。</p> <p>今年で2回目を迎えた「ひろしま街じゅうアニメーションで賞」は、街のあちこちにアニメーションを題材とした市民手づくりのパナーやポスター、人形などを飾っていただき、アニメーションフェスティバルやアニメーションピエンナーレを盛り上げ、市民が楽しみ、同時にビジターを歓迎する風景をつくりあげる事業です。この事業は、魅力ある都心づくりのために2005年2月に広島市が策定した「ひろしま都心ビジョン」の主導的な取り組みにエントリーして実施しており、アニメーションを感動のコミュニケーションツールとして活用しながら創り楽しむ文化を育てることを通じて、「平和文化」、「水都文化」と並んで「アニメーション文化」がひろしま独自の都市文化となるよう願っています。</p> <p>この度は、作品募集のテーマを「地域のキャラクターをつくろう!」とし、広島地域の故事、民話などを題材として創造したキャラクターを、市民手づくりのパナーやポスター、人形や料理、そしてアニメーション作品として制作いただきました。総数70作品のご応募をいただきました。大変ありがとうございました。その中で、アニメーション部門は、NPO法人セトラひろしま様の共催を得、応募作品の公開審査も兼ねて、「アリスG(ガ)でアニメナイト」を開催しました。即興演奏家の寺内大輔さんに特別参加いただき、大変楽しい映像と音楽のコラボレーションも実現しました。</p> <p>入賞されました皆様、誠におめでとうございます。この企画を通じて、例えば、広島の子ども達が自分が住んでいる町の昔話を知って、それを表現することで、地域に対する愛着が増す、また、クリエイター志望の学生の作品が地域のオリジナルキャラクターとして採用されたり、さらに、お菓子などの新しいみやげものができたりするなどの波及効果が出てくればと願っております。</p> <p>最後に、アリスG(ガ)でアニメナイトを共催いただきましたセトラひろしま様、補助金をいただきました広島市、協力いただいた学校、協賛いただきました画材店、後援いただいた広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金の皆様には厚くお礼申し上げます。</p> <p>クラブでは今後ともアニメーションが広島の都市文化として根付いていくよう活動を継続していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしています。</p>

■ 審査講評

二回目の開催となりました今回は70作品のご応募をいただきました。ありがとうございました。とりわけ広島の話などにちなんだキャラクターの設定という難題に対して、取材を基に思いをめぐらせて表現いただいたことを喜んでます。それぞれの作品は前回にも増してすばらしいものでした。

厳正な審査の結果、努力賞5、奨励賞3、アイデア賞2、技術特別賞2、部門賞5、大賞1と決定いたしました。

大賞のアニメーション「SMILE」は、被爆・平和という難しいテーマを取り上げ、若者らしい率直な感情を表現されていました、練られた企画により、恒久平和の実現には継続的な取り組みが必要であると訴えており、テーマに応える表現方法が高く評価されたものです。部門賞には民話や故事に即した表現力豊かなものを選定しました。また、前回に引き続き精度の高い作品やアイデア作品へは「技術特別賞」や「アイデア賞」を設けました。さらに、今回新たに、夢を育てる児童・生徒の作品にはその素直な表現に対して努力賞を設定しました。広島からアニメーションフェスティバルに入賞する作家を送り出したいものです。

審査員を代表して ハッピークラブ代表 大橋 啓一

■ ひろしま街じゅうアニメーションで賞 活動経過

- 3月25日 記者発表(ピエンナーレ事業関連)
- 5月3・4・5日 募集チラシの配布(フラワーフェスティバル)
- 5月31日～ 学校、画材店への協力のお願い
- 7月1日 記者発表(ピエンナーレ事業関連)
- 7月5日 リーフレット・ポスター配布
- 7月7日 作品募集開始
- 7月11日～ 募集のPR活動
- 8月7～12日 応募作品写真展示
(国際学院大学立町キャンパス)
- 8月12日 応募締め切り

□応募作品総数	70作品
①手作りバナー部門	3作品
②創作ポスター部門	16作品
③ウィンドウフィギュア部門	23作品
④アニメーション部門	17作品
⑤創作料理・お菓子部門	11作品

- 8月17日 バナー、ポスター等選考会
- 8月23日 アニメーション公開審査会
- 8月24日 表彰式 於 福屋広島駅前店6階マルチの広場
観客約160人



主催	国際ガンダム学会設立準備会議
イベント名	国際ガンダム学会設立準備会議
開催日程	2008年8月24日(日) 14:00～17:00
総来場者数	130名
会期中の様子	<p style="text-align: center;">“ガンダム”を学問すること ～アニメーションを学問することの発展的可能性～</p> <p>日時 2008年8月24日(日) 14:00-17:00 (入場13:30より) 場所 (財) 広島市文化財団アステールプラザ市民ギャラリー 〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL: 082-244-8000 FAX: 082-246-5808</p> <p>主催 国際ガンダム学会設立準備会議 共催 大阪市立大学都市研究プラザ、広島市立大学、 広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金</p> <p>参加費 入場無料(有志交流会は実費会費制)</p> <p>プログラム 14:00-14:10 挨拶 中嶋健明(広島市立大学芸術学部教授) 14:10-14:50 基調講演 「国際ガンダム学会の設立に向けて～学際的研究対象としての可能性～」 杉浦幹男(大阪市立大学都市研究プラザ特任講師) (休憩) 15:00-16:00 キーノートセッション(10-15分/人) 福島祥行(言語学/大阪市立大学大学院文学研究科准教授) 山口悦子(医学、心理学/大阪市立大学医学部附属病院講師) 高橋 徹(物理学/広島大学大学院先端物質科学研究科准教授) 足立 靖(デジラマ甲子園の提案/株式会社エンジンズ プロデューサー) 16:00-17:00 フリーディスカッション</p> 
	<p style="text-align: center;">国際ガンダム学会設立趣意書(案)</p> <p>設立の背景 『機動戦士ガンダム』(MOBILE SUIT GUNDAM)は、1979年から放送され、数多くのシリーズが制作されている人気アニメシリーズである。日本サンライズ制作により、名古屋テレビをキー局として放送されたロボットアニメーションであり、人口増加により宇宙に移住する時代「宇宙世紀」を舞台に、人の革新、そして地球と宇宙の人類の対立を描いている。2009年には、同シリーズは放送開始30周年を迎える。</p> <p>これまでのロボットアニメの勧善懲悪型のストーリー展開ではなく、戦場を舞台としたリアリティに富んだ人間ドラマと、ロボットを「モビルスーツ」とよばれる一種の兵器として扱う設定とを導入したことでアニメーション作品の変革の先駆けとなり、後に「リアルロボット」と称される大きな潮流を作った。その人間ドラマの背景には、人文研究へとつながる人物描写、社会研究につながる社会構造、そして将来起こりうる未来都市の課題を深い洞察に基づき描き出しており、「未来学」へとつながる学際的テーマが多く導き出される。</p> <p>一方、『機動戦士ガンダム』シリーズは、国際的な人気と評価を獲得しており、欧米、アジア等、世界中で親しまれており、そのテーマ、内容は国際的に共認されている。また、人間ドラマの舞台も国際性に富んでいることから、同シリーズをモチーフとする研究・議論の国際的展開が可能となっている。</p>

	<p>設立目的</p> <p>以上を踏まえ、本学会は、『機動戦士ガンダム』（MOBILE SUIT GUNDAM）をモチーフとして、未来都市の諸問題を研究、議論し、本会は、その分野にたずさわる研究者、実務者等による研究成果の発表と相互交流を行い、それらを通して国際的な都市問題研究およびそれに伴う学際研究の発展と教育の普及に資することを目的として設立する。</p> <p>研究・議論のテーマは、大きく①同シリーズにおいて提起されている「未来都市」への展望とその都市の諸問題からの観点、②同シリーズが20年にわたって人気を博し、また、国際的に評価されている文化産業論の観点の二つの側面より、研究、議論を進めるものである。また、国際的に共認された『ガンダム』というアニメーション作品をモチーフとすることで、広く国際的なアピールに寄与する。</p>
--	--

主 催	中国経済産業局
イベント名	知的財産シンポジウム「コンテンツを活用した地域振興とビジネス展開」
開催日程	2008年8月27日（水）13：30～16：30
総来場者数	103名
会期中の様子	<p>慶應義塾大学中村伊知哉教授による「コンテンツを活用した地域活性化」と題した基調講演及び全国各地からコンテンツを活用した地域振興等の成功事例の当事者によるパネルディスカッションを行いました。参加者は主に行政機関や企業等、コンテンツを活用した地域振興あるいはビジネス展開に携わる方々であり、非常に熱心に講演を聴いていました。</p> <p>また、展示ブースを設置し、コンテンツを活用した地域振興事例を紹介するとともに、会場には「ゲゲゲの鬼太郎」や松江市の「あっぱれくん」の着ぐるみが登場し、シンポジウムを盛り上げました。</p>



主 催	広島市映像文化ライブラリー
イベント名	「夏休み特集 家族でシネマ」「こどもミニシアター」
開催日程	2008年8月5日（火）～8月17日（日）
総来場者数	504名
会期中の様子	<p>夏休み期間中の開催ということもあり、劇映画に比べ、アニメーションの上映には子ども連れの方が多かった。また、8月6日には、他県の中学生在がグループで来館し、平和をテーマにしたアニメーションを鑑賞していた。</p>

主 催	N H K 広島放送局
イベント名	親子で楽しむ N H K アニメ上映会
開催日程	2008年8月22日(金)～8月24日(日)
総来場者数	250名(内訳:大人=110名、子ども=140名)
会期中の様子	<p>上映作品として、「おじゃる丸スペシャル」「忍たま乱太郎スペシャル」「テレパシー少女 蘭スペシャル」の3作品(各50分程度)を用意。会期中に計14回の上映を行った。</p> <p>来場者は、「30代の親と小学生以下の子どもの家族連れ」が大半を占めた。お目当の作品だけを見て帰る家族が多かったが、中には「全作品を見て帰った家族連れ」や「三日連続来場した家族連れ」もあった。</p> <p>アニメ上映に合わせて、N H K 広島のキャラクター「しゃもべえ」によるウエルカムサービス(記念撮影など)や独自の立体ハイビジョン映像の上映も行っており、トータルとして大変喜ばれた。</p>



主 催	T S S テレビ新広島
イベント名	のだめカンタービレの音楽会 Lesson 1 広島公演
開催日程	2008年8月28日(木) 18:30～広島厚生年金会館
総来場者数	約2000人(完売)
会期中の様子	<p>「のだめカンタービレ」の人気は広島でも高く、おかげ様でチケットは完売。当日は、親子連れをはじめ20代～30代の男女が会場に詰め掛けました。開演前にはマンガースの着ぐるみがロビーに登場し、一緒に記念撮影するファンの姿も見られました。音楽会は、茂木大輔さんの楽しいトークとともに「のだめ」に登場する名曲の数々を広島交響楽団が演奏。スクリーンには「のだめ」のコミックが投影され、観客は「のだめ」の世界を堪能した様子でした。終演後には、出演者のサイン会も開かれ、盛況のうちに幕を閉じました。広響の演奏について、茂木さんが「すごく良かった。レベルが高い」と盛んにおっしゃっていたのが印象的でした。</p>



主 催	アイラブひろしま実行委員会
イベント名	アニソンイベントライブひろしま
開催日程	2008年8月24日(日)
総来場者数	97人
会期中の様子	<p>会場前から列が出来、苦情が来なかったのが不思議なくらい人が居たのに礼儀よく並んで待ってくれて、本番始まったら、ノリ良く出演者も客も一体化となったイベントになったと思います。</p> <p>あまりの盛り上がりで第2回目を即座に決定してしまいました。</p> <p>次回2回目の開催は2009年1月18日です。</p> <p>また出演者が増えた場合2日間に分けて17日夜にバンド系、18日昼にPOP系にしていきたいと思います</p>




主 催	かみちゅ！展実行委員会
イベント名	かみちゅ！展～尾道にみるアニメの原風景～
開催日程	2008年8月8日（金）～2008年8月24日（日）
総来場者数	2251人（上映イベント除く）
会期中の様子	<p>空き店舗を借りての展示イベントで、準備及び告知期間も短く、不安もありましたが、初日以降徐々にお客様も増えていき、日に70～80人前後のお客様に来ていただきました。</p> <p>23日に御袖天満宮で特別企画として行った上映会では目測で200人前後のお客様に来ていただき、アニメのロケモデル地でのイベント開催による体感効果のようなものも感じられました。</p> <p>展示イベントは50点近くのパネル展示と無償のロケ地マップの配布で、狙い通り会場自体がロケ地めぐりの基地的機能を果たせました。</p>



主 催	リーガロイヤルホテル広島
イベント名	サマーフェスティバル2008
開催日程	2008年8月10日（日）～12日（火）
総来場者数	約9,000名（前売券販売数8,000冊）
会期中の様子	<p>毎年恒例のリーガの夏祭り。お盆前の3日間、ホテル3階・4階の宴会場、ロビーを使用して開催されます。</p> <p>今年は北京オリンピック開催中という事もあり、大宴会場では「美食の祭典」として好評いただきました。</p> <p>また、参加される顧客は小さな子供を持ったファミリー層が中心の為、キャラクターショーを連日開催し、来場のきっかけにいたしました。</p> <p>8/10-12 おしりかじり虫バラエティーショー 8/11 炎神戦隊 ゴーオンジャー 8/12 Yes プリキュア5 GOGO</p>

主 催	広島テレビ／きかんしゃトーマス ソドー島フェスティバル 実行委員会
イベント名	きかんしゃトーマスとなかまたち ソドー島フェスティバル きみも鉄道員だ！！
開催日程	2008年8月2日（土）～8月17日（日）（16日間）
総来場者数	約23,000人
会期中の様子	<p>長期にわたり子供たちに大人気のキャラクターによる展示物と参加型のアトラクションを中心とする催事の実施となり、開催日もお盆休みを含む期間となったため、子供達とその家族で大変賑わいました。</p>



主 催	模型サークル 広島エアフォース
イベント名	中国地区模型合同展およびミニ四駆体験広場
開催日程	2008年8月9日(土)～8月10日(日)(2日間)
総来場者数	模型合同展1000人+ミニ四駆40名
会期中の様子	<p>模型合同展 両日とも晴天で、会場となったマリーナホップに来られるお客様も多く、展示会にも多くの方に来場いただきました。 来場されたお客様は年齢層も広く、キャラクターロボットの作品はもちろん、その他の作品も楽しまれ、また同日に行われたアニソングループ「おこさまらんち」様のライブもあり、会場はにぎやかでした。 屋外のイベントで、とても暑い中の開催でしたが、各地からいろいろなミニ四駆ファンの方に参加いただきました。</p> 

主 催	(財) 広島市文化財団 広島市立中央図書館
イベント名	図書展示「アニメーションはおもしろい！」
開催日程	2008年8月1日(金)～8月17日(日)
総来場者数	11,141人
会期中の様子	<p>当館はアステールプラザ2階にあるので、アニメーションフェスティバル開催中の8月7日～8月10日は、フェスティバル来場者の来館も多く、興味深く展示図書を手にとられていたようです。</p>

主 催	広島市まんが図書館
イベント名	広島国際アニメーションフェスティバルポスター展
開催日程	2008年7月1日(火)～8月31日(日)
総来場者数	43,491人
会期中の様子	<p>正面入り口すぐの1階ロビーに、歴代のポスターを展示しました。 まんが図書館を訪れた人が、色々なデザインのポスターに興味深そうにご覧になっていました。 外国人観光客の方が、ポスターが欲しいといわれたこともありました。</p>

主 催	カフェめいぷりてい
イベント名	ニュータイプカフェ@めいぷりてい
開催日程	2008年8月29日（金）～31日（日）（3日間）
総来場者数	約400人
会期中の様子	<p>通常はメイドカフェとして運営している店舗にて、従業員が機動戦士ガンダム（初代）の衣装を着用して接客し期間中のメニューもキャラクターや名せりふにちなんだものを用意しました。</p> <p>お客様の中には初代ガンダムのファンの方もかなり多く、キャラクターのコスプレをした従業員とのガンダムトークが弾みました。</p>



主 催	第3回妖怪そっくりコンテスト
イベント名	第3回妖怪そっくりコンテスト
開催日程	2008年8月9日（土）～8月10日（日）（2日間）
総来場者数	観客数500人
会期中の様子	<p>水木しげる先生の作品に登場する妖怪にそっくりな方もしくは妖怪に仮装してパフォーマンスしていただける方を募集しました。</p> <p>応募総数23組</p>

主 催	「イギリス人形アニメーションの現場@広島」実行委員会
イベント名	イギリス人形アニメーションの現場@広島
開催日程	2008年8月30日（土）
総来場者数	32人
会期中の様子	<p>アニメーションフェスティバル・ピエンナーレで知って…という人、講師のお知り合いなど、下は4歳から上は50歳代まで、小中学生のお子さんを含む家族連れもあり、幅広い参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講師の解説つきで見る欧州短編アニメーションの上映：日本アニメとは異なるセンスや逆に万国共通とも言えるアニメーションならではの動きによる笑いなど、参加者の皆さんは興味深く楽しんでいただけたようでした。 ■ 制作現場についてのトーク：メイキングビデオやスタジオ風景写真を使った具体的なお話が、日本ではなかなか知り得ない内容だけに、また、丁寧な人形アニメを作るための地味な作業やプロならではの仕事の工夫について「初めて知った。面白かった」「アニメを見る目が変わった」等、大変好評でした。



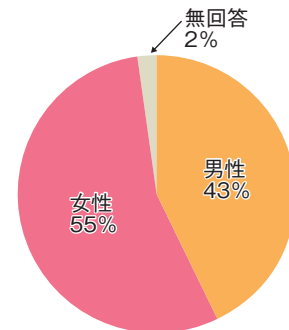
9 アンケート集約表

実施日：2008年8月25日・26日 有効回答：380

Q 1. あなたご自身についてお聞かせください。

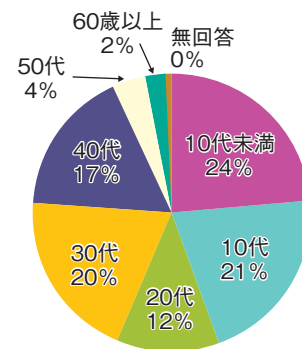
性別

男 性	女 性	無 回 答	合 計
165	206	9	380
43%	55%	2%	100%



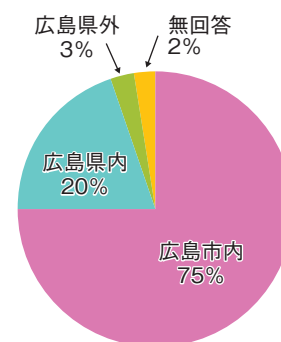
年 齢

10代未満	10代	20代	30代	
93	81	44	75	
24%	21%	12%	20%	
40代	50代	60歳以上	無 回 答	合 計
64	15	7	1	380
17%	4%	2%	0%	100%



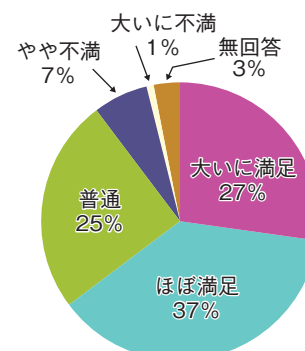
住 所

広島市内	広島県内	広島県外	無回答	合 計
285	75	11	9	380
75%	20%	3%	2%	100%

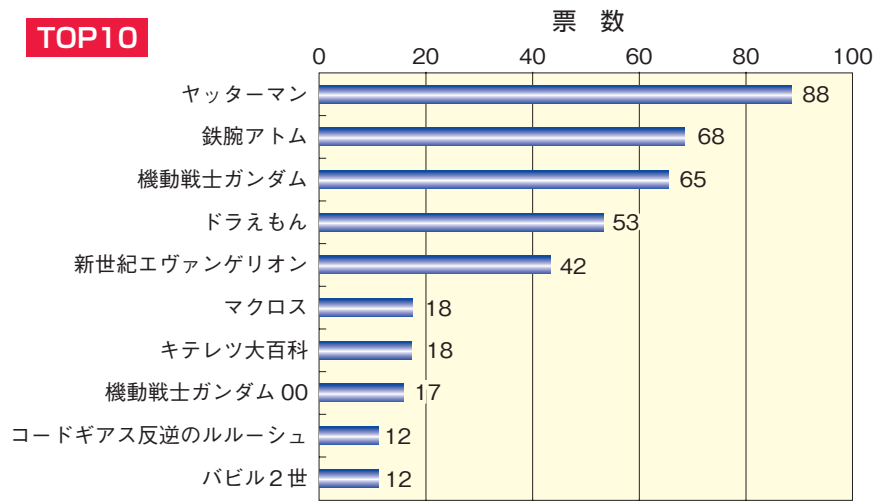


Q 2. 「ロボットアニメ EXPO」はご満足いただけましたか。

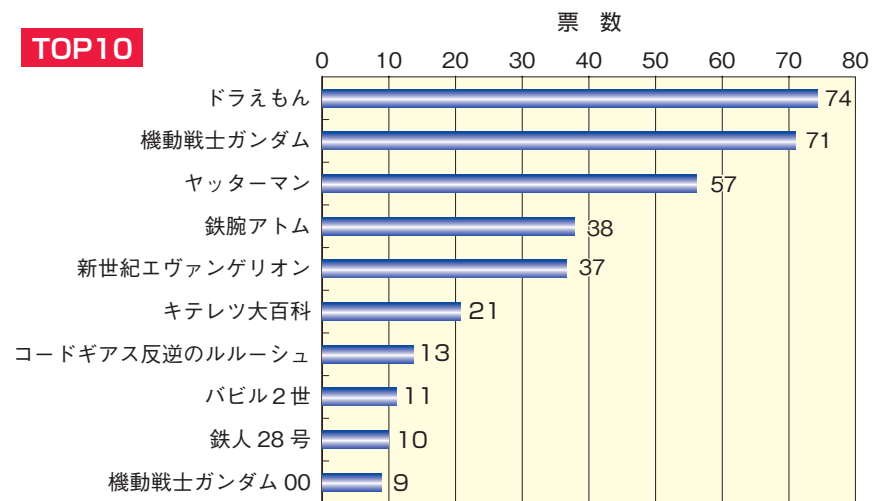
大いに満足	ほぼ満足	普 通	
104	142	95	
27%	37%	25%	
やや不満	大いに不満	無回答	合 計
25	3	11	380
7%	1%	3%	100%



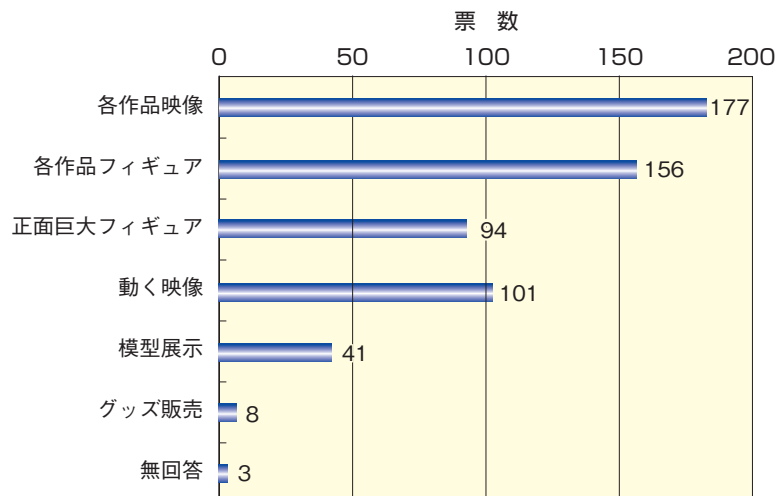
Q 3. どの作品がよかったですか。(複数回答)



Q 4. 今回展示した作品も含め、好きなアニメ作品をあげてください。(複数回答)

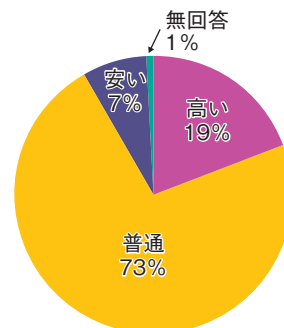


Q 5. どの展示物がよかったですか。(複数回答)



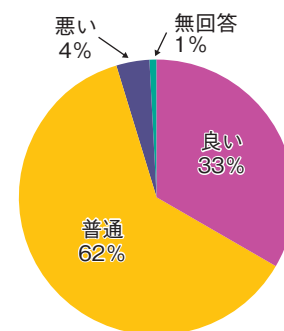
Q 6. 入場料についてはどう感じですか。

高 い	普 通	安 い	無回答	合 計
73	276	28	3	380
19%	73%	7%	1%	100%



Q 7. 会場についてはどう感じですか。

良 い	普 通	悪 い	無回答	合 計
127	236	14	3	380
33%	62%	4%	1%	100%



来場者の声 —アンケートから—

おもしろかった
 好きな作品があった
 知らない作品が多くみれた
 アクセスがよい
 広くて鑑賞しやすい
 懐かしい
 作品数が多くてよかった
 順路がわかりやすい
 福屋で買い物ができる
 また開催してほしい
 etc.

音声が聞こえづらい
 好きな作品がなかった
 知らない作品が多い
 中心部から離れている
 狭い
 子供向けが少ない
 体験ゾーンが少ない
 インタラクティブな内容がほしい
 小さい子供には展示位置が高すぎる
 椅子がない
 etc.

第2章

広島経済同友会

アニメーションビエンナーレ基金の軌跡

1 開催までの歩み

広島アニメーションビエンナーレ開催までの歩み

「元気な広島」づくりに相応しい新たな都市戦略の策定と実行が求められるなか、広島経済同友会では、日本が世界に誇るソフト、「アニメーション」を核とした都市興し・産業興しに着目。

- 1997年（平成9年）11月 ホテルグランヴィア広島の社長だった古橋正雄氏(故人)らが中心となって「大型集客装置研究会」を発足。
東京ディズニーランドや大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンを意識したテーマパークとして「アニメーションワールド・ジャパン(AWJ)」の建設が議論され始める。
- 1998年（平成10年）12月 広島経済同友会幹事会で古橋社長が構想を披露。
約50haの土地に事業規模1000億円で年間入場者400万人の集客装置を創出しようという構想で、「21世紀の都市間競争を生き抜くために」という狙いもあった。
- 1999年（平成11年）3月 広島経済同友会都市機能委員会で「活力ある都市機能の創造」の一環として同友会提言に取り上げた。
- 2000年（平成12年）12月 古橋社長や経済同友会有志、地場大手企業、金融機関有志らで「AWJプロジェクト実現可能性及び採算性検討委員会」を発足。
(中国電力、中国放送、広島ガス、三菱商事、日本政策投資銀行、UFJ銀行、広島銀行、ホテルグランヴィア広島、広島電鉄等)
単なる観光客誘致の装置ではなくアニメーションの分野が裾野の広い産業化、文化振興のシーズを持っているという認識から、各地のテーマパークの分析や用地の選定、権利関係の複雑なアニメーション界の構図など検討は多岐に及ぶ。
構想の基本には、公共事業に依存しない景気回復策、都市機能強化策を実現しようという思いがあった。
- 2001年（平成13年）8月 中国電力経済研究センターの協力で「AWJの経済効果」の予測実施。
→ 入場者予測は約300万人（当初想定：約400万人）となり実現は困難。
- 2002年（平成14年）3月 松本零士氏を迎えて勉強会を開催。→しっかりとしたコンテンツを持つことが重要と認識。

2002年（平成14年）7月 電通の意見により、テーマパーク方式ではなく、分散型のパビリオン方式で検討するという方向性に転換。

2002年（平成14年）10月 検討委員会で「テーマパーク構想」を凍結。
「アニメーションで広島の活性化を」という構想は消えず、検討を続けた。



幸い広島では、世界のアニメーション界で最も権威ある事業の一つである、ASIFA（国際アニメーション映画協会）主催の「広島国際アニメーションフェスティバル」が1985年（昭和60年）から2年に1度のビエンナーレ方式で開催され、新しい文化・新しい産業として急成長を遂げている「アニメーション」「コミック」を21世紀の都市戦略とする基盤が育っていた。

議論を進める中で、「広島国際アニメーションフェスティバル」に合わせて、2年に1回のビエンナーレ方式で「アニメーション」「コミック」に関連するイベントを開催するという計画が持ち上がった。

「広島国際アニメーションフェスティバル」には、新たな才能を発掘するため、世界中からテレビ局や制作会社、配給会社が参加しており、こうした世界中からの注目を集める時期に、複数のイベントを開催することで、相乗効果を期待した。



2003年（平成15年）12月 広島経済同友会都市機能委員会・文化問題委員会の合同委員会で電通（同友会会員）がイベント構想の第1弾となる「広島アニメーションビエンナーレ2004」を提案。

第10回広島国際アニメーションフェスティバルとほぼ同じ時期に複数のコアプログラムを立ち上げることによって、その相乗効果で国の内外に「アニメーション・コミック都市広島」をアピールし、「アニメーションを核にした都市興し・産業興し」の第1歩を踏み出そうというもの。

これを機に2年に1度、同規模の事業を開催しながら、広島に独創的なエンターテイメント空間を創造し、観光客誘致のみならず、最先端技術を活用したアニメ産業や学術・研究施設の集積を図っていくことを構想。

事業展開に必要な資金を約1億円と見積り、チケット販売の収入でまかなう事としたが、立ち上げる際の資金が必要となるため、開催にあたって、広島経済同友会では、「有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金（初代代表理事 金井宏一郎）」を設立、「出資」、「寄付」を募り、わずか1ヶ月余の内に広島経済同友会会員社を中心に28社から1億550万円の資金集めに成功した。

これは広島では特筆されるべき出来事であり、まさしく本事業に対する地元経済界の期待の証であった。

有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金 登記事項

■ 名 称

有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金

■ 主たる事務所

広島市中区基町5番44号

■ 公告方法

インターネット上の当法人のウェブサイトに掲載して行う

■ 設立年月日

平成16年3月22日

■ 目的等

当法人は、広島都市活性化に寄与するために、アニメーション・コミック産業の育成・支援を通じて広島における都市文化を創出することにより、21世紀にふさわしい文化産業都市を創造することを目的として、次の事業を行う。

1. アニメーション・コミックに関するイベント等の実施
2. アニメーション・コミック業界と関連する諸団体との連絡連携
3. アニメーション・コミック文化の向上に関する広報活動
4. 前各号に掲げる事業に附帯または関連する事業

■ 基 金

基金総額 1億550万円

(うち寄付金・協賛金 700万円)

■ 設立における原始社員

広島電鉄株式会社(広島市中区東千田町2丁目9番29号)

株式会社中国放送(広島市中区基町21番3号)

株式会社中国新聞社(広島市中区土橋町7番1号)

■ 最初の理事および監事

代表理事 金井宏一郎

理 事 大田 哲哉

角廣 勲

監 事 山本 一隆

基金拠出企業

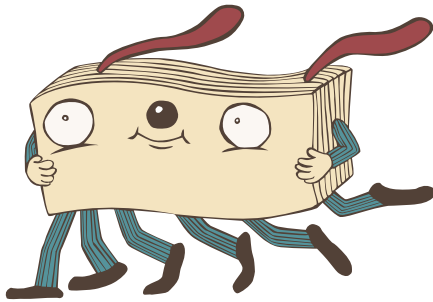
広島電鉄(株)
コカ・コーラウエストジャパン(株)
株)中国放送
株)モルテン
株)中国新聞社
株)中電工
広島ガス(株)
マツダ(株)
株)広島ホームテレビ
株)ヒロテック
株)広島銀行
株)デオデオ
広島信用金庫
東洋観光(株)
章栄不動産(株)
株)アスティ
広島テレビ放送(株)
株)シンコー
株)テレビ新広島
西川ゴム工業(株)
株)アーバンコーポレイション
株)ホテルグランヴィア広島
中国電力
マツダエース(株)

寄付及び協賛企業

(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ中国
株)ウッドワン
株)大創産業
株)U F J 銀行

広島アニメーションビエンナーレイメージキャラクター

H a b y 君（ハビー君）



アニメーション作家 山村浩二氏が制作。

アニメーションの作画に用いる「紙の束」をイメージ。

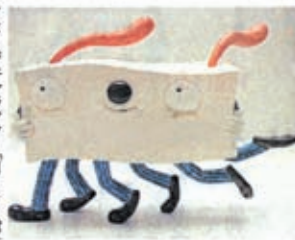
スペインのアルタミラ洞窟の旧石器時代の壁画に描かれた動物の絵が、6本足で生き生きとした動きを表現していることもヒントになった。



広島の夏アニメざんまい

経済同友会が初企画

イメージキャラクター「Haby君」



広島経済同友会は十九日、「広島アニメーションビエンナーレ2004」を今年、広島市内で初めて開くと発表した。期間は七月十七日から九月五日まで、第十回を迎える「広島国際アニメーションフェスティバル」（八月十九日〜二十三日、市など主催）との相乗効果で、観光誘致やアニメ産業の集積をねらう。

国際フェスタと相乗効果狙う

同友会メンバーなどの実行委（委員長・金井宏二郎中国放送社長）は、総額一億円の基金を募って開催費に充てる。

市現代美術館（南区）で開催中、昨年のフランス・アニメーション国際アニメーション映画祭で短編部門最高賞を受賞した山村浩二監督の東京作品「山」など、原画やセル画を展示。NTTクレドホール（中区）では、宮崎駿監督が制作中の「ハウルの動く城」展や、人形などを集めたフィギュア大博覧会が八月二十一〜三十一日にある。オカリナ奏者の宗次郎さんや広島交響楽団などが演奏するアニメにちなんだ曲のコンサートも、アステールプラザ（中区）で八月十三、十四日に予定している。

宮崎監督「ハウルの動く城」展

フィギュア大博覧会

イベント事業による集客交流の活性化

(1) 広島アニメーションビエンナーレ2004

■ 開催概要

開催日時：平成16年7月17日～9月5日（51日間）

総動員数：312,889人（内、広島国際アニメーションフェスティバル動員数 31,674人）

① 主催事業（チケット販売実数：79,602人）

- アニメーション&マンガワンダーランド展（広島市現代美術館）

現代のアニメーション・マンガ文化を担う気鋭のクリエイター達の作品を、原画、セル画及び映像作品等で紹介。

- ハウルの動く城展（N T Tクレドホール）

宮崎 駿氏のアニメ映画「ハウルの動く城」の作品世界を、公開に先駆けて立体造形物等を交えて紹介。

- フィギュア大博覧会（N T Tクレドホール）

世界から注目を集める「フィギュア」を、古代から現代まで独自の視点で収集し展示。

- ファンタジアコンサート（アステールプラザ大ホール）

アニメーションの音楽世界を、ファミリーコンサートとシンフォニーコンサートの2部構成で紹介。

② 協賛事業（イベント数：27 / 動員数：201,613人）

公民館、図書館、市民グループなどによる、自主イベントの企画参加を呼びかけ、「協賛事業」として位置づけ、統一キャンペーン、統一広報を実施。

■ 事業展開と評価

広島アニメーションビエンナーレ2004事業自体は、7月17日から9月5日までの間に4イベントを実施したが、これによって広島は、日本を代表するアニメーション作家をはじめとする関係業界とのネットワークの輪を広めた。

また、時期をあわせて地元テレビ局、公民館、図書館、市民グループなどがアニメーションに関する幾つものイベント展開、映画館は話題作の上映を重ねるなど30近い協賛事業が実施され、過去10回の大会の中でも2番目に多い参加者があった第10回広島国際アニメーションフェスティバルを含め、市中に30万人以上のファンを集めた。

しかしながら、事業の告知期間が短かったこともあり、入場者実数と広域的集客、何よりも各イベントの収益性の面で大きな反省点を残した。その主なものは、以下のような点である。

- ① プログラムの構成とプログラムごとのターゲットの絞込み。
- ② 地元が共感を持てる地域性の視点と、一方で中央の目も引く全国的な話題性の視点。
- ③ プログラムごとの集客と採算性の予測。

- ④ 開催時期と会場の効果的配置及び期間設定。
- ⑤ アニメーションフェスティバルとの相乗り効果。

■ 基金事業の課題と方向性

以上のようなプラス・マイナス実績を十分に総括した上で、事業の課題と方向性は次のように整理した。

- ① 「ビエンナーレ基金事務局」に事務局員を常設配置して事務局を継続する。
- ② ビエンナーレ設立と同時に発足した市民グループ「H a b yクラブ」との協働作業で市民とのアニメーション交流の場を定期的に設ける。
- ③ 事業に参加・協力した作家との研修会を持つなど中央の作家や業界とのネットワークを維持・拡大する。
- ④ 行政や地元関係機関の協力・参加を促す方策として、大学や専門学校にアニメーション学科や講座開設を働きかける。寄付講座など。
- ⑤ アニメーション産業の育成には経済産業省を中心に国も大きな関心を示しているので、中央組織と連動した企画を展開して助成を得るなど、中央との連携を密にする。

等々の取り組みである。

以上の総括に立ち、次回2006年事業は、採算性を重視しながら、地域貢献、文化振興に寄与するとともに広島経済同友会会員はもちろん、県民・市民の参加できる事業に育て「広島発都市興し・産業興し」のモデル事業にするという方向性を確立した。

(2) 広島アニメーションビエンナーレ2006

■ 開催概要

開催日時：平成18年7月28日～8月27日（31日間）

総動員数：378,272人（内、広島国際アニメーションフェスティバル動員数 31,170人）

- ① 主催事業（チケット販売実数：65,893人）

東映アニメーション設立50周年を記念し、東映株式会社（岡田名誉会長）の特別協力を得て、N T Tクレドホールで「東映アニメーション50周年ヒストリー」を開催した。2004の反省を踏まえ、より、ファミリー層にアピールする内容の企画展となった。

- ② 協賛事業（イベント数：64 / 動員数：280,509人）

2回目の開催ということで、ビエンナーレ協賛事業の主旨が浸透し、より多くの団体の参加が実現した。

■ 事業展開と評価

広島アニメーションビエンナーレ2004の事業では、実際の来場者からは強い満足感を得たというアンケート結果だったが、チケットの売れ枚数と実質入場者の差、広域的な集客に結ばなかったため収益性の面で大きな赤字であった。

その反省を踏まえ、広島アニメーションビエンナーレ2006は、ターゲットを絞り、「親子で楽しめる

イベント」でなによりも赤字を出さない「採算性」を重視する方針で開催した。

① メインプログラム 「東映アニメーション50周年ヒストリー」

メインプログラム『東映アニメーション50周年ヒストリー ～白蛇伝からふたりはプリキュアまで～』は、広島県出身で岡田茂東映名誉会長率いる東映の特別協力を得て、7月28日から8月27日までN T Tクレドホールにて31日間開催。3万9935人の実質入場者であった。これは前回の4つのイベントの総入場者3万8035人を上回った。

実質入場者は、当日券入場者15,873人（40%）、前売券入場者5,237人（13%）、割引回数券入場者18,244人（46%）、招待券入場者 581人、計39,935人であった。

また、組織動員として取り組んだ割引回数券は3,591冊（12枚綴り）43,092枚分売れた。結果として、動員目標の60,000人を越え、チケットの売れ枚数と当日入場者の合計は65,893枚となった。ターゲットを30～40代の親とその子どもたちとしたが、狙い通り親子で同時に楽しめるイベントとなった。事業収支も黒字となった。

② 協賛事業

「広島市をアニメーションのテーマパークに！！ 点から面へ！」と第11回広島国際アニメーションフェスティバル開催の8月24日～28日に向けて、7月初めから8月末にかけてアニメーションに関する企画展や上映会、市民参加型の募集企画、著名なクリエイターとの交流会などのイベントでまちじゅうを埋め尽くす目標を立てた。実行委員会としてアニメーションをテーマにイベントを企画実施する企業、団体、グループ、個人に、「2006年 夏。 広島は、まちじゅう、アニメーション。」への企画参加を呼びかけた。また、各企画はそれぞれが独立して責任を持つことを前提とし、イベント名に「広島アニメーションビエンナーレ2006協賛事業」を銘打つこととして、広島アニメーションビエンナーレ2006実行委員会がトータル運営することにして取り組んだ。

8月24日から28日までに開催された第11回広島国際アニメーションフェスティバルも好評で、フィルムマーケットの開催など、ビエンナーレとの相乗効果があったといえる。

結果、協賛事業は前回の27イベントから64イベントと倍増し、トータルの動員は、前回の31万2889人から、37万8272人と6万5383人増加、「2006年、夏。 広島は、まちじゅう、アニメーション。」と文字どおりの展開となった。

(3) 広島アニメーションビエンナーレ2008

■ 開催概要

開催日時：平成20年8月7日～8月26日（20日間）

総動員数：534,620人（内、広島国際アニメーションフェスティバル動員数 31,820人）

① 主催事業（チケット販売実数：73,137人）

日本最初のロボットアニメ「鉄腕アトム」の作者、手塚治虫氏の生誕80周年を記念して、日本動画協会の企画協力により、アニメ制作会社の枠を超えた、地方都市では初の開催となる、全55作品のロボットアニメを揃えた企画展を開催した。

② 協賛事業（イベント数：70 / 動員数：429,663人）

広島市域のみならず、広島県域、広く中国地方全域の、アニメ・漫画・キャラクターに関するイベントを開催する施設・団体より、協賛事業参加があった。

また、「国際ガンダム学会準備会議」を、2009年度中に、大規模な「第1回国際ガンダム学会」を開催するためのプレ会議として開催した。

■ 事業展開と評価

第1章に記載

(4) 広島アニメーションビエンナーレ事業 総括

比較内容		2004年	2006年	2008年	
I 主催事業					
事業体制	共催団体数	4団体	6団体	6団体	
	後援団体数	30団体	38団体	39団体	
	実行委員委員数	45人	53人	50人	
	広報部会委員数	10人	11人	12人	
	事業実施部会委員数	20人	27人	26人	
	事務局員数	7人	5人	4人	
イベント毎	メインイベント数	4	1	1	
	マンガワンダーランド展	12,633人			
	ハウルの動く城展	14,720人			
	フィギュア大博覧会	6,503人			
	ファンタジアコンサート	4,179人			
集客数	東映アニメーション50周年ヒストリー		39,935人		
	ロボットアニメEXPO			27,680人	計
	実質入場者	38,035人	39,935人	27,680人	105,650人
	動員目標数	80,000枚	60,000枚	40,000枚	180,000枚
	チケット販売実数(※) ①	79,602枚	65,893枚	73,137枚	218,632枚
事業収支	事業収入	52,878,335円	54,345,354円	37,570,150円	144,793,839円
	事業支出 制作・宣伝費	88,742,460円	43,924,167円	24,269,900円	156,936,527円
	事業収支	▲35,864,125円	10,421,187円	13,300,250円	▲12,142,688円
	その他事務局経費等	10,055,802円	9,487,992円	9,040,562円	28,584,356円
	最終損益(2008は通期予想)	▲45,919,927円	933,195円	4,259,688円	▲40,727,044円
II 協賛事業					
	イベント数	27	64	70	161
	動員数 ②	201,613人	280,509人	429,663人	911,785人
III 広島国際アニメーションフェスティバル					
	出品作品数	1,539本	1,764本	1,656本	4,959本
	入場者 ③	31,674人	31,170人	31,820人	94,664人
IV その他(ポール・イマージュ・広島)					
	水上フォーラム ④		700人		700人
	フィルム・マーケット(フェスティバル内数)		(参考 5,435)人	(参考 5,403)人	
	総動員数(①+②+③+④)	312,889人	378,272人	534,620人	1,225,781人

※チケット販売実数……組織販売枚数+プレイガイド販売枚数+当日入場者数

3 コンテンツ産業人材育成

コンテンツ産業人材育成

(1) 広島経済同友会提言「広島市立大学にアニメーション学科を」発表

- ① 平成17年1月18日、広島経済同友会は、広島で世界に通用するクリエイターの育成と、コンテンツ産業の振興を目指すため、提言を発表した。
- ② この提言では、世界トップレベルのクリエイター育成、最先端の映像技術の集積、アニメーションの今日的な意味を嗅ぎ取るための学術活動を実現するため、広島市立大学にアニメーション学科を設立することを示した。

(2) 広島経済同友会寄附講座「広島アニメーションアカデミー」開講

- ① 上記の提言を、実現に導くための道標として、広島市立大学に寄附講座を提供。市民が参加できる公開講座として開講した。講師陣は、これまで広島に招聘することができなかった、著名なアニメーション関係者、漫画家等を招き、好評を博した。
 - 第1期：平成17年9月～平成18年9月（全8回） 受講者総数：812名 寄附額240万円
 山村 浩二、古川 タク、伊藤 有壺、村田 朋泰（以上アニメーション作家）
 松本 零士（漫画家：銀河鉄道999）、西尾 大介（東映アニメーション監督：修道高校出身）
 木下小夜子（広島国際アニメーションフェスティバルディレクター）
 - 第2期（平成20年6月～平成20年8月 全4回） 受講者総数：474名 寄附額100万円
 ラレコ（WEBアニメーション作家：やわらか戦車）、今 敏（長編アニメーション監督：パブリカ）
 東 不可止（TV東京プロデューサー：修道高校出身）、安彦良和（漫画家：機動戦士ガンダム）

	講師(敬称略)	開催年月日	開催場所	来場者数
第1期	山村 浩二	平成17年9月11日(日)	広島市立大学講堂小ホール	164
	古川 タク	平成17年9月11日(土)	広島市まちづくり市民交流プラザ	88
	伊藤 有壺	平成18年2月19日(日)	広島市現代美術館	110
	伊藤 有壺	平成18年3月26日(日)	広島市現代美術館	85
	村田 朋泰	平成18年4月22日(土)	広島市立大学講堂小ホール	108
	松本 零士	平成18年6月3日(日)	広島市立大学講堂小ホール	186
	西尾 大介	平成18年7月29日(日)	広島市立大学講堂小ホール	47
	木下小夜子	平成18年9月9日(日)	広島市立大学講堂小ホール	24
第2期	ラレコ	平成20年6月1日(日)	広島市立大学講堂小ホール	92
	今 敏	平成20年7月13日(日)	広島市立大学講堂小ホール	162
	東 不可止	平成20年7月20日(日)	広島市立大学講堂小ホール	42
	安彦 良和	平成20年8月3日(日)	広島市立大学講堂小ホール	178
計				1,286

広島経済同友会提言 広島市立大学にアニメーション学科を（抜粋）

～日本版ポール・イマージュ実現に向けて～

【提言要旨】

- ◎ 広島市立大学に、アニメーションを総合的に教育・研究する、アニメーション学科の設立を提言する。
それを実現に導くための道標として、広島経済同友会が寄附講座を提供する。

【提言主文】

- 今、「元気な広島」造りに相応しい新たな都市戦略の策定と実行が求められています。
幸い広島では、世界のアニメーション界で最も権威のある事業の一つであり、日本における国際的な映画祭の草分けともいえる、A S I F A主催の「広島国際アニメーションフェスティバル」が1985年から2年に1度のビエンナーレ方式で開催され、今年8月に、第10回が開催されました。
- また、広島経済同友会は、本年より、「有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金」を立ち上げ、広島国際アニメーションフェスティバルを核とした、より広範囲な内容と規模の集客イベント「広島アニメーションビエンナーレ2004」を開催いたしました。
- こういった状況の中で、広島には、新しい文化・新しい産業としての「アニメーション」「コミック」を21世紀の都市戦略とする基盤が育ちつつあります。
- 私たち広島経済同友会ではこの基盤を活かして、日本が世界に誇るソフト、「アニメーション」を核にした都市興し・産業興し、を実現したいと考えております。
- 具体的には、「アニメーション」を「ビジターズ・インダストリー」として位置づけ、広島経済同友会としては、「広島アニメーションビエンナーレ」を継続的な集客装置として開催し、経済的な波及効果をめざすと同時に、広島から世界に向けて情報発信できるコンテンツ産業を育成してゆきたいと考えております。（日本版「ポール・イマージュ」の実現）
- この目標を達成するには、①広島市が20年にわたって開催してきた、「広島国際アニメーションフェスティバル」の永続的な開催と、②世界トップレベルのクリエイター育成、最先端の映像技術の集積、アニメーションの今日的な意味を嗅ぎ取るための学術的な研究活動を実現する事—が必要不可欠だと考えます。
- よってここに、広島市立大学に「アニメーション学科」（仮称）を設立することを提言し、それを実現に導くための道標として、広島経済同友会が寄附講座を提供いたします。

【提言論拠】

『日本版ポール・イマージュ』の実現にむけて

(1) フランス・アングレーム市「ポール・イマージュ」の都市モデルと広島

フランスの地方都市・アングレーム市では、「産業」「教育」「エンターテインメント」を3つの柱とする方針が採られ、国立漫画映像センター、デジタル映像研究所、アニメーション映画学校、漫画美術館等の、映像文化・コミックに関する公共施設が集中的に作られており、地域経済に大きな影響を与えている。

特筆すべきは、この都市は、本来、ワインの産地で有名なボルドーに近い小規模地方都市にすぎないが、約30年間に渡って、毎年1月に「国際コミックフェスティバル」を開催してきたという実績を背景に、特定分野（映像表現）にターゲットを絞って、地方自治体・経済界が一体となって、従来の主要産業である農業とは異なる産業振興を目指した点である。

従来の「国際コミックフェスティバル」というイベント開催地としてのイメージ、1997年以降の映像産業集積地としてのイメージの相乗効果で、2000年には人口4万7000人の街に19万5000人が訪問しており、コミック・アニメが「ビジターズ・インダストリー」として機能している。

また、公共施設周辺には、1997年以降、数年しか経過していないにもかかわらず、映像クリエイターの個人オフィスから、200名近い従業員を有する中堅企業まで、40以上の「映像」をキーワードとする映像関連企業が集積し、600人以上の雇用を生み出しており、雇用創出の点でも、目を見張るものがある。

広島経済同友会は、アングレーム市と広島との類似点①地方都市②国際コミック（アニメ）フェスティバルの開催③コミック・アニメーションをビジターズ・インダストリーとして活用している事ーに着目し、『ポール・イマージュ・広島』を実現したいと考える。

(2) 広島国際アニメーションフェスティバルの重要性

現在、「アニメーションフェスティバル」と名のつくイベントは、世界各国で相当数存在するが、国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）が公認する国際アニメーションフェスティバルは、広島、アヌシー（フランス）、ザグレブ（クロアチア）、オタワ（カナダ）の4都市に限って開催されている。

常に最新で良質の作品が全世界から集まる広島大会は、過去の入賞者の多くが国際的に活躍の場を得ており、若い作家の世界への登竜門として大きなチャンスを与える大会としても知られている。（→2004年度の応募総数は1532本で、世界一となっている。）

その新たな才能の発掘のために世界中のテレビ局や制作会社、配給会社が参加していることからわかるように、日本のみならず、プロフェッショナルを目指す世界のアニメーション関係者の中で、世界を代表するアニメーションの総合映画祭として評価されている。

しかし、関係者の20年間の懸命な努力にもかかわらず、広島の地にアニメーション文化が根付いて、クリエイターが育ってきたとは言い難い。

このことは、とりもなおさず、高度な芸術性が一般市民には難解と敬遠されがちであることを割り引いても、フェスティバルに参加して、世界一流の作品に触れ、アニメーションを志したクリエイターの卵たちが育つための孵卵器としての「日常的な中核組織」、つまりアニメーションに関する専門教育機関が、地元広島に存在しなかったことに起因すると考えられる。

「広島国際アニメーションフェスティバル」20年の歴史を再評価し、今後も継続的に開催することにより、前述のフランス・アングレーム市「ポール・イマージュ」の例でもあるように、アニメーション専門の教育機関・研究機関の誘致や、都市活性化に結びつけることができるのではないだろうか。

(3) 広島市立大学の果たすべき役割

「ポール・イマージュ・広島」の形成において、その中心となるのは、広島市立大学であると思われる。

既に、同大学芸術学部においては、広島県内の高等教育機関としては、唯一、ファインアート（芸術）としてのアニメーションを教授している。また、国際学部・情報科学部との有機的な連携・相互乗り入れによる学際的な研究にも積極的に取り組んでいる。

これらの取り組みを、より発展的且つ専門的に昇華し、また、アニメーションを志す、日本中・世界中の若きクリエイターたちを広島市立大学に集めるためには、「アニメーション学科」を単科として独立させ、「アニメーション」に関する、より横断的、網羅的な教育・研究体制を築き、「広島国際アニメーションフェスティバル」とともに、広島をアピールすることが必要であると考え。

そのためには、以下の要件が必要となるだろう。

- ① 商業アニメやアート系アニメーションの相違や、短編・長編といった、範疇論にこだわったカリキュラム編成をするのではなく、学生が創作したいと考えられる映像表現を網羅的に技術指導できる教授陣を整えること。
- ② アニメーション学科の象徴となるような、カリスマ的人物を、主任教授として招聘すること。
- ③ 映像制作のプロフェッショナルが、自らのプロジェクトで利用したいと考えるような、映像技術の最先端の設備をもったスタジオを設置すること。
- ④ 地元テレビ局などに働きかけ、制作されたアニメーションを手軽に市民に公開できる場を設定すること。

(4) 広島経済同友会の果たすべき役割

以上述べてきたように、『広島アニメーションビエンナーレ』の発展的形態である『ポール・イマージュ・ヒロシマ』を実現するためには、広島市立大学における「アニメーション学科」の設立と、広島国際アニメーションフェスティバルの継続開催が不可欠である。そのため、広島経済同友会としては、具体的に以下のような取り組みを実施してゆきたい。

- ① アニメーション学科設立までの道標として「寄附講座」を広島市立大学芸術学部に開設する。

なお、この講座は、当面、市民も参加できる公開講座型のものが望ましい。

- ② アニメーション学科設立検討委員会を産官学協同で立ち上げ、設立にむけて検討する。
- ③ 広島国際アニメーションフェスティバルと、ピエンナーレの、機能面での積極的な融合を図る。
- ④ また、才能あるクリエイターの作品を、広島各企業が、企業コマーシャル、企業キャラクター等で活用するための場を設ける。(コンペティション・紹介等)
- ⑤ 将来的には、広島で育ったクリエイターたちが、広島を拠点として活躍するための「アニメーション工房」的な受け皿作りを目指す。

第1回：「山村浩二とアニメーションの世界」

講師：山村浩二氏

開催日：平成17年9月11日

記念すべき第一回は、第10回広島国際アニメーションフェスティバルで見事グランプリに輝いた山村浩二氏を迎えて開催された。

講演は三部構成で行われ、第一部はアニメーションの基本概念、原理～歴史、そしてアニメーションの現状といった講義形式。

第二部は、日本のアニメーションの歴史とインデペンデント（非商業）作品の上映と解説。

第3部は山村氏自身の作品上映と、その制作スタイルについて語っていただいた。時間の都合により第3部はかなり圧縮されたものになってしまったが、第2部における、日本のインデペンデント作品の上映は圧巻であり、他ではなかなか観

る事の少ない映像作品の上映は、多くの受講者にとって貴重な体験となった。



第2回：「メディアはひっこしをする。～ひとコマ漫画からアニメーションまで」

講師：古川タク氏

開催日：平成17年12月3日

第2回は、広島市の中心街、袋町にある「まちづくり市民交流プラザ」マルチメディアスタジオに移しての開催。講師に長らく日本のアニメーション界を支えてきた古川タク氏を招いての講演。古川氏がアニメーションの世界に入った切っ掛けから現在に至るまで、多種多様なメディア(媒体)上で表現を展開して来た様を、作品紹介とともに解説。代表作『上京物語』など多数を上映。

「いかなるメディア上であっても、作品制作に対する精神性は一貫している。表現者としてそれが最も重要である」として、講演を結ぶ。



第3回 「つくろう！クレイアニメーション！」

講師：伊藤有壹氏

開催日：平成18年2月19日

この期間、広島市現代美術館で開催された「I. Toon Cafe ～伊藤有壹アニメーションの世界」展の為、来広していた伊藤氏、広島市現代美術館ミュージアムスタジオで開講。第3回は伊藤氏が開発に携わった、アニメーション作成ソフトウェア「クレイタウン」を使用してのワークショップスタイルで展開。初心者30名を対象にしたワークショップ受講者の他に、美術館での展覧会鑑賞後の来客も聴講の形で多数参加。伊藤氏のデモンストレーションから始まり、幾つかステップを経ての各5名6グループでのアニメーション作品の講評などを行った。



第4回 「実践的アニメーション制作講座」

講師：伊藤有壹氏

開催日：平成18年3月26日

第3回同様、広島市現代美術館ミュージアムスタジオで開講。今回は、将来プロのアニメーション作家を目指す若人を対象に展開。地元の大学生や、中高生も数多く詰め掛けた。I. Toonでの現場におけるプロとしての厳しさや実情などをレクチャー。伊藤氏によるアニメーションのデモンストレーションや、地元大学生を代表して、広島市立大学の学生作品を上映し、プロの立場から厳しい講評を行う。



第5回 「村田朋泰／俺の路／不安の遊び」

講師：村田朋泰氏

開催日：平成18年4月22日

今、最も注目される若手アニメーション作家の一人である村田朋泰氏を招いての第5回。本アニメーションアカデミーのコーディネーターである笠原とは師弟関係。会場を再び広島市立大学に戻しての開講。全体を二部構成として、前半は村田氏の作品の数々を一挙上映。後半は笠原とのトークセッションとなった。村田氏は制作にかける情熱を存分に語り、受講者の多くに、その熱い思いを伝える講演となった。学生たちにとっても、近い世代で活躍している作家の言葉は非情に刺激的であったようで、質疑応答においても数々の質問が飛び交った。



第6回 「私の生き方～制作秘話より」

講師：松本零士氏

開催日：平成18年6月3日

日本を代表するマンガ家であり、アニメーション制作にも力を注ぐ松本零士氏を招いての講演。その知名度からか、シリーズ中最も多く受講者が詰め掛けた。松本氏の幼少期の体験話から現在に至るまでの、ありとあらゆる話が交錯しながら、まさにノンストップで2時間半講演が続いた。特に映像の上映は行われなかったが、氏の作品は受講者の多くの方々が既観しており、氏の一語一句にリアリティを持って大きく頷く受講者の姿が見受けられた。最後に、平和都市「広島」へのメッセージをも語られた。



第7回 「プロダクションでのアニメーション制作」

講師：西尾大介氏

開催日：平成18年7月29日

この夏、広島アニメーションビエンナーレ企画イベントである、「東映アニメーション～50周年ヒストリー」にあわせて来広された、西尾大介氏を招いての講演。西尾氏の屈託のない喋り口調で、商業アニメーションの制作現場での実情を語っていただく。会社組織の中での立場と、表現者としての立場との柵など、普段耳にする事の無い辛辣な内容が受講者の興味をかき立てていた。映像上映は行われなかった。ただ、残念な事に開講日が大学の夏季休業に入っていたため、学生の受講者が少なかったため、十分な告知が出来なかったため受講者数が少なくなってしまった事が悔やまれる。



第8回 「木下小夜子、私と広島とアニメーション」

講師：木下小夜子女史

開催日：平成18年9月9日

長年、広島国際アニメーションフェスティバルでフェスティバルディレクターを務める、木下小夜子女史を招いての講演。故木下蓮三氏との共作で作り上げた数々の作品の上映とともに、蓮三氏と共に活動し、広島で国際フェスティバル開催に至る経緯などを熱く語っていただく。社会とアニメーションをいかにして連携させていくかなど、表現者の枠を超え、活動家としての木下小夜子を語られた講演。



広島市立大学寄附講座 広島アニメーションアカデミー 2008 講義録

第1回 『やわらか戦線異常なし～超人気フラッシュアニメ「やわらか戦車」誕生の秘密～』

講師：ラレコ 氏

開催日：平成20年6月1日

講座は、ラレコ先生のお話に、パワーポイントではなく先生の専売特許！でもあるフラッシュでの大画面映像を交えながら進められました。冒頭、少し緊張した雰囲気にもまれていた会場でしたが、そこはラレコ先生！フラッシュにさっそくいろんな仕掛けが！つかみはオッケー！会場はたちまち笑顔に包まれ一気に和やかムードに。

そんな中、ラレコ先生はご自身のキャリアについて順を追って語られました。漫画家アシスタント時代の経験や、「飽きっぽい自分にはぴったりのメディアだった」インターネットとの出会い、「思いついて1日で仕上げた」という『カレーパンのうた』制作秘話、「キャラクターを後押しするための」歌へのこだわりなど、ラレコ先生が「単なる思いつき」と言いながらも『やわらか戦車』誕生までの長い道のりを、これまで明かされることのなかったいろんなエピソードや裏話に当時のレア映像・未公開作品を交え、一挙に紹介！



また、クリエイターを志す若い人たちに向けては「上手くなるのを待っていてはダメ！とにかく一つの作品を最後まで完成させてみるのが大事！」とメッセージもいただきました。質疑応答の時間には、会場からラレコ先生へ質問が殺到。講座が終わったあとも、ファンひとりひとりと言葉を交わしながらサインに応じるラレコ先生の“やわらか”なお人柄にも触れることができました。

第2回 「今敏～十年の土産」

講師：今 敏 氏

開催日：平成20年7月13日

●「好きなコトをして生きるのはカッコいい」

小さい頃は、虫捕りに、切手収集、プラモデルを作ったりと、スタンダードな子供だった。たいていのに飽きてしまったが、絵を描くことだけは飽きなかった。ギタリストになった兄（今剛氏）に触発されて、「好きなコトをして稼ぐのはカッコいい」と、高校2年生のとき、将来は絵で

生きていきたいと思い立ち、武蔵野美術大学へ進学した。

●「漫画家になりたいと思ったわけではない」

武蔵野美術大学在学中、将来、絵を媒介にした仕事であればイラストレーターでも漫画家でも何でもいいと思うなか、もともと漫画が好きで、たまたま応募した作品が新人賞を受賞。漫画業界と



縁ができ、学校に通いながら短編等制作し、なんとなく漫画家になり、学校を卒業する頃には漫画家になっていた。

- 「なんていい加減な業界」

『老人Z』（＝大友克洋原作・脚本）で、美術設定を担当することがアニメ業界との最初の関わりとなった。アニメ業界の印象は、よく言えばおらかな感じだが、趣味を仕事にしている人たちは仕事のやり方もてんでバラバラで、時間も守らない、なんていい加減な世界だと感じた。『老人Z』はスケジュールが崩壊し、結果、試写会はおろか、公開にも間に合わず大阪の劇場では2日遅れのスタートとなった。

- 「絵が描ければアニメはできる」

「走れメロス」、「MEMORIES -彼女の想いで-」にそれぞれレイアウト・脚本で参加する中、自分でも絵コンテ・演出がやってみたくなった。

『ジョジョの奇妙な冒険』で脚本・コンテ・演出をすることになり、作画のチェックは想像以上に大変だったが、絵が描ければ（観察力・デッサン力があれば）時間はかかるかもしれないがアニメ

はできると実感した。

- 「クリエイターはその作品が最大のプロモーションである」

その後、再び漫画の連載を2本進めるなか、『パーフェクトブルー』の話が舞い込んできた。これまでも自分がやりたいと選んだ仕事はなく、自分の知らないところで次の仕事につながっていく。クリエイターはその作品が最大のプロモーションであり、これ以上雄弁なものはない。

- 「『パーフェクトブルー』は自分には向いていないと思った」

『パーフェクトブルー』のシナリオを初めてみたとき、これはホラー・スプラッターで、自分の分野ではない、自分には向いてないと思ったが、ストーリーを変えてもいいとのことだったので、やってみることに。制作現場は、スケジュール崩壊から作品以上にサスペンスフルで制作現場の緊迫感が作品に反映したのでは。『パーフェクトブルー』は監督とし良い経験を積むことができた作品だった。

- 「やりたい仕事に仕立てる」

『パーフェクトブルー』は今敏の作品であるという評価に、違和感を感じながらも、実は作品に自分の主張が表れていることに気づく。これが自分のやりたかったことなんだと感じた。何でもいからやることになった仕事を自分のやりたいように仕立てていく、結果的に自分のやりたかったことになるんだということ。やることになった仕事をやりたかった仕事に仕立てることが大切だ。

- 「既存のアイデアを新しい手法でつなぐとこれまでにないモノが生まれる」

『千年女優』はアイデアが評価された作品だが、この作品はよくあるアイデアで既存の映画をモチーフにしたもの。既存のアイデアを新しい手法でつなげていくことでこれまでにないモノが生

まれる。新しいアイデアとは、関係のさせ方を発見すること。かたくなに誰もがやったことのないことを探すより、既存のアイデアに新しい関係性を探してみると新しい発見がある。

- 「作れば作るほど、理想が遠くなる」

クリエイターはモノを作るとき理想イメージを追いかける。だが理想に辿り着けるか？いや絶対に追いつけない。作れば作るほど、もっと良いものを求めていくため、理想がどんどん遠くなる。

『千年女優』も制作課程でどんどんイメージが膨らんでいった。理想を追いかけ続ける姿こそ、モノづくりのあるべき姿である。

- 「実写（リアル）で」

実写作品の話もいくつかあったが、その気はまったくなかった。ただ実写で撮るならどんなストーリーかは考えていた。それで『東京ゴッドファーザーズ』のアイデアが生まれた。

- 「アイデアを出しつづけることで、新鮮さを維持する」

TVシリーズ『妄想代理人』では、これまで映

画で使えなかったアイデアをリサイクルしながら、13話のアニメバラエティーにチャレンジした。そのころ、これまで監督として映画3本分の経験しかなかったことを、自分の弱点と自覚していたので、TVシリーズをすることで、すべての制作課程を一度に13回できたことは、貴重な経験だった。毎回、常にアイデアを出しつづけることで、新鮮さを維持することがクリエイターにとって大事である。

- 「頭が裏返るくらいイメージを考えるのが大変だった」

雑誌で筒井康隆氏と対談したとき、筒井氏から直々に小説『パプリカ』のアニメ化をオファーされた。『パプリカ』はこれまでの「ストーリーを見せるためのビジュアル」から「ビジュアルのためのストーリー」というあらたな観点で望んだ作品。夢を映像化することは魅力的な作業だが、これまで上手く映像化できた作品はほとんどない。

『パプリカ』は頭が裏返るくらいイメージを考えるのが大変だった。

第3回 「アニメプロデューサーのお仕事～テレビアニメーションの現実」

講師：東 不可止氏

開催日：平成20年7月20日

- 「テレビ東京のアニメシェアはイチローの打率ぐらい！」

テレビ東京は「アニメと経済の両輪でやっていく」と掲げているだけに、局の編成部門にアニメ放送部というアニメ制作専門の部がある。アニメ制作専門の部があるのはテレビ局でもテレビ東京だけ。現在、東京地区では再放送も含め、1週間に100本程のアニメが放送されているが、その内37本がテレビ東京で放送されており、そのシェアはイチローの打率ぐらいを誇る！

- 「アニメは通常の番組より制作費がかかり、成

- 立しにくい時代」

今、テレビアニメの制作費は30分／一本に1200万～1800万円くらいかかる。テレビ東京は全国6局ネットで、1クールで3億ぐらいお金を集めないと放送できない！テレビアニメは制作者・出資者にとってはハイリスクハイリターンな番組。家族みんなで楽しめるような作品が減っているのは、スポンサーが集まりにくく、成立条件が厳しくなっているから。本当にやりたい作品を作るのはなかなか難しい時代。

- 「アニメの制作方法は3つ」

1つは、制作会社にこういう番組を作ってくださいと発注する『発注番組』、テロップの制作著作にテレビ東京の文字が入る。2つめは、番組を購入してくる『購入番組』といわれるもの、例えばディズニーとかから。3つめは出来上がった番組を放送枠として電波料をもらい放送するという形態。『発注番組』は海外での放送やおもちゃの商品化などのビジネスのイニシアチブを取ることができる。『発注番組』として手掛けたものの、スポンサーの協力が得られず『持込番組』になってしまうこともしばしば。会社にはおこられます。

●「アニメは冬の時代」

3年ぐらい前は番組改編時期に15本ぐらいの新作があったが、今は5～6本程度。視聴率が稼げなくなってきて特にゴールデン枠（19：00～22：00）にかけにくい。ゴールデンで視聴率を稼げないのは即、局のイメージダウンにつながる。テレビ局はデジタル化に伴う莫大な設備投資などがあり、経営上、慎重にならざるを得ない状況。子供が減っていることもあり、今のアニメは冬の時代になってきている。ゴールデンにアニメがないとテレビの中心的なコンテンツというイメージがないので、プロデューサーとしては、いかに一般の番組と同じ土俵（ゴールデン）で勝負できるかを常に考えなければならない。

●「コンテンツビジネスの担い手として有望視」

スポンサー収入が不調のなか、一方で、アニメはコンテンツビジネスの担い手としては有望視されている。アメリカ・ヨーロッパ・アジアでの放送権利、商品展開など。アニメをひとつのビジネスとして割り切った場合、あらかじめ、海外での放送を見据えた番組づくりが必要。しかし海外、特にアメリカは表現方法にかなり制約があり、制作者にストレスを与えてしまう。制作者に出来るだけ、やりたいことをさせてあげられるよ

う外部とたたかうこと、制作者を守ることが僕らの仕事でもある。

●「今やらなければならない仕事をきちんとやる」

たまたまテレビ局にいるという立場で考えた場合、できるだけ多くの人に、良い番組を見てもらえる機会をどう実現できるかを考えている。つまり、やりたい番組の企画があって、成立させるための条件をどれだけ揃えられるかということ。実績があって信頼され、お金を直ぐに集められなければ実現できない。それは、今やらなければならない仕事をきちんとやって実績を積んで初めて可能になる。どんな仕事にも通じると思うのだけれども。

●「作り手の熱意が番組の出来を左右する」

どんな番組でも必ず一番最初に「コレやりたい！」という人がいて、その人の熱意がどこまであるかということが番組の大きな部分を左右している。いかに、みんなで「やろうよ！」という雰囲気現場をつくっていけるか。画を描く人、声を入れる人、音楽を作る人、すべての人から伝わってくる熱意が本当に画面に現れ、カタチになる。でもそういうモチベーションを下げちゃうのが、だいたい局のプロデューサーなんですよ。つまらないこと言って（笑）。

後半は、東さんがこの日のためにと、あかほりさとる先生を特別ゲストにお招きしフリートークセッションをおこないました。あかほり先生と東さんの出会いやこれまで一緒にやってこられた仕事、業界の裏話などなど。あかほり先生は、創作に関する秘密も明かしてくれました。前半と打って変わってざっくばらんなお二人のお話は場内を大いに沸かせてくれました。

第4回 『70年代のアニメとガンダム』

講師：安彦良和氏

開催日：平成20年8月3日

講演 広島市立大学公開講座



- 「こともあろうに昔やった『ガンダム』を漫画で描き直すことに」

70年代というのは、何のあてもなく東京に出てきて、それから『機動戦士ガンダム（＝1979年）』を放映するまでの10年、80年代はガンダム以降のアニメ制作の10年、90年代はひたすら漫画を描いている漫画家稼業の10年。そう考えると、なにか××年代という10年刻みが、自分の人生の節目節目に不思議と合致すると気づきました。それで2000年代には、自分は何をするのだろうかって思っていたら、こともあろうに昔やった『ガンダム』を漫画で描き直すことを始める。3年ぐらいで終わると思っていたら、どうも10年ぐらいかかると。何のことはない、この10年はガンダム描き直しの10年だったのかと思ったら愕然としたんですけれど…。

- 「全く好きじゃない。好きだと思ったことは一度もない」

虫プロの先輩で、尊敬する杉井ギサプローさんが昔、ある雑誌で、やはり尊敬する富野由悠季さんと対談をされていて、手塚治虫さんについて面白い話題が出ているのを読んだことがあります。手塚さんが『鉄腕アトム』を納品に間に合わせる

ため、余りのフィルムを継ぎ接ぎ編集して作ったという神話として語られるエピソードがあるのですが、手塚さんはアニメがお好きだったのだろうか、ほんとはアニメなんて好きじゃなかったんじゃないかと。僕も同感だと思って読んだのを感じています。アニメが好きじゃないことをいけないといっているのではなく、白状しますけれど、僕もアニメーションは全く好きじゃない。好きだと思ったことは一度もない。ですから、むしろ共感を込めているのです。

- 「叱られたんです。趣味が悪いと」

僕がキャラクターデザインを務めて、富野喜幸（現＝由悠季）さんが監督をした『勇者ライディーン（＝1975年）』という作品があります。3本目が放映されたころ、NETテレビ（現＝テレビ朝日）の担当プロデューサーに、富野さんと一緒に呼ばれたんです。何かごちそうでもしてくれるのかなと思って行ったら、叱られたんです。「趣味が悪い」と（笑）「ウチは六本木のテレビ局ですよ、何とかしてください！」って。僕はこう見えても気が短いものですから「何ともなりません!!」って（笑）。憤然として会社のスタジオに戻ると、富野さんが突然何かを始めるわけです。次回放映のフィルムを切り刻んで、いろいろ寄せ集め、再編集するんです。まさに手塚さんの神話と似たものがあると思ったのです。その様子は、鬼気迫る感じで、この人は凄いことをする人だと。この情景はずっと忘れなれないと思います。

- 「ヤマトが70年代のアニメを大きく変えた」

1974年に非常にエポックメイキングな作品が出てきます。一つは高畑勲さん、宮崎駿さんの『ア

ルプスの少女ハイジ』です。これはその後、高畑・宮崎ラインの大きな流れとなっていく。もう一つは西崎義展さんの『宇宙戦艦ヤマト』です。僕はこの作品で絵コンテを担当することになるのですが、僕にとって大きな経験になったのと同時に、『ヤマト』がアニメ業界を大きく変えたということも軽視されてはならないと思います。それは『ヤマト』がいわゆるヤングアダルトと呼ばれる新しいファン層を開拓したことです。実は『ライディーン』の現場でもその兆しを感じていて、それをファン層として掘り起こしたのが『ヤマト』だったのです。『ヤマト』が一定の成功を収めたことで、いろんな人が、違うターゲットに向けた作品作りも許されるのだという考えを持ったんですね。そんななか70年代最後に『ガンダム』を作ることになるんです。

●「偉大なるオタクの先駆けかもしれない」

80年代に入って高畑・宮崎ラインの作品が不動のものになっていく。同業者として非常に宮崎アニメに傾倒したのは、演出が趣味的なんですね。例えば『ルパン三世』の宮崎さん絵コンテ・演出の話数で、戦車が大砲を撃つシーン。砲弾が光る点になって飛んでいって、離れたビルに着弾するまでを、カットを分けずに、実際の時間経過で表現する。こんな見せ方があるのかと。ほかにもいろんな例はあるのですが、僕が一番焼き付いたシーンです。非常にマニアックな表現で、これに対して同業者もイカれたし、いわゆるその後、名づけられるオタク的な連中も魅了されたわけですね。そういう意味において、宮崎駿さんこそ偉大なるオタクの先駆けであるかもしれないと思います。

●「なぜ、あの時言ってくれなかったのか」

宮崎駿さんの『未来少年コナン』は全26本すべてが高いクオリティで作られていて、当時、こ

んな仕事がしたいと憧れていました。それで、『ガンダム』が終わったあと、全話数の作画監督を僕がやるということで、わがままを言って作らせてもらったのが『巨神ゴッグ(=1984年)』です。絵描きとして、できる限りのことをして、かなり思い入れもあったのですが、これがまったくウケなかった。非常に大きなショックでした。もうこれ以上のものはできないと。それで1989年にアニメをやめるんですけど、その間の僕の作品は、例えば、将棋でいうところの投了する前の形作りだったのではないかと思います。最近になって、「『ゴッグ』好きでした!」という方がけっこういらして、なぜ、あの時言ってくれなかったのかと思うんですけど(笑)。

●「不自由さのなかで、いろいろなことにチャレンジをしていた」

『機動戦士ガンダム』で一番印象に残る話数は、最初のシリーズの13話『再会、母よ…』です。母と青春期の息子との子別れの話しなんですが、そのことをこの20分間に、スポンサーの制約とか、時間の制約とか、ロボットアニメという作り上の制約とか、いろんな制約のなかで、奇跡的に上手くまとめているのではないかと思います。当時、絵コンテを受け取ったとき、今風に言えば”鳥肌がたった”記憶があります。作家たちが、同じような制約のなか、もちろん技術的な制約も含めて、不自由さのなかで、いろいろなことにチャレンジをしていた、そういう時代が70年代だったんじゃないかと思います。

●「その時、初めて当時のシナリオを読んだのです」

「ファーストガンダム」で一番多くの話数の脚本を書かれているのが星山博之さんです。星山さんは、去年お亡くなりになる前、ご自身の著書の中で一番印象に残る仕事として13話『再会、母

よ…』を挙げてらして、そのシナリオの載録をしています。僕はその本で初めて当時のシナリオを読んだのです。すると、完成作品と、もちろん骨格は同じなんですけど、かなり違う。作品はシナリオより圧倒的によくなっていると思うのです。つまり演出が優れているということです。星山さんは、敢えてご自身の著書にシナリオを載録して、当時の演出が非常に優れていることを立証したのです。では誰が実際に演出したかというと監督の富野喜幸(現=由悠季)さんです。『ガンダム』を漫画にリライトする作業のなかで、『ガンダム』という作品における星山博之というライターのエイトは非常に大きかったことに今更ながら気づいたのですが、同時に、はからずも当時のシナリオを見ることで富野由悠季という演出家の力量を、20数年経ってあらためて知ることにもなったのです。

●「富野さんの最高のコンディションがこの時代だった」

13話『再会、母よ…』のラストシーンに、絵コンテを見た人にしかわからない演出があります。絵コンテを見ないとわからない演出というのは実はいけないと思うのですが、この時、富野さんは、ある種の“禁じ手”を犯して映像を見ただけでは多分気付かない演出をしている。このあといろんな人たちがこの手法を真似ていきます…これはその先駆けだと思いますが…。それは何かというと、お母さんの向こうに止まっている車の運転席に中年の男が座っているのです。富野さんはここで、母と子の別れのシーンにひとつの現実を突きつけている。その象徴がお母さんを待つ車の男の存在なのです。ある種の残酷なリアリズムがありますが、残酷だけでなく非常にあたたかさを感じて、このラストシーンは大好きです。僕は富野由悠季という作家の、最高のコンディション

が『ファーストガンダム』のこの時代だったと思うのです。

●「作家たちもついつい自分を見失ってしまった」

80年代は、70年代がゆがんで継承されていくんですね。作り手がメディアとのなれあいのなかで、一見わからない演出上のからくりみたいな、いわゆる“禁じ手”を堂々と犯してゆくような時代が80年代にやってきます。「メイキングを見なさい!見るべきだ!!」そういう作り手の中に非常に尊大な態度が現れる。70年代は『ヤマト』、『ガンダム』があり、あるいは『宮崎アニメ』が台頭してきたといっても、メディアが作り手たちに目を向けるということはなかった。そのなかでも「誰も見てくれなくてもいいよ!オレたちはいろいろ想いを込めて作るんだ!!」という風にやっていた。80年代あらたに、メディアが作り手の方に注目するようになり、そのなかで作家たちもついつい自分を見失ってしまうということがあったと思うんです。

●「70年代に発生した妙なかたまりこそが、アニメブームだった」

懐かしのアニメみたいな番組があって、『巨人の星』とか、『あしたのジョー』とか、あの頃はアニメブームだったとよく言われるんだけど、これはマンガ文化に乗った人気でしかない。アニメブームというのは、厳密に言うとアニメが一つの表現ジャンルとして自己主張しはじめ、それに対しトレンドウォッチャー的な、例えば女子大生とかそういう人たちが目を向け、話題にし、面白さにチェックを入れはじめる。そこに発生した一つのムーブメントがアニメブームというのです。ひとつの新しい文化の形態の発祥としては、70年代に発生した妙なかたまりこそが、アニメブームだったのだと。その起点になったのは、非常につたないけれど、表現者たちの想いが詰まった、

大人げないぐらい本音をしのばせた『ヤマト』や『ガンダム』のような営みだったのだと思います。そういう非常にユニークな10年として70年代があり、それがたまたま僕のアニメ人生の前半と重なったわけです。

最後に、会場のファンから、次の10年について聞かれ、安彦先生は「2作、3作と書きたい」と、現在制作中の漫画『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』以降の新作への抱負も語ってくださいました。会場の質問にも、ひとつひとつ丁寧に答えして下さる安彦先生のあたたかいお人柄にも触れることができ、ファンにとっては至福の時間となりました。

アニメーションを核としたコンテンツ産業振興

(1) ポール・イマージュ・広島

■ 事業概要

- ① 平成17年度経済産業省サービス産業創出支援事業に公募申請し、調査事業として500万円を受託した（100%国負担）。フランスのアングレーム市、アヌシー市などを訪問し、国内外の先進事例の調査を行った。
- ② また、「広島アニメーション創発会議」を開催。広島市におけるアニメーションの有効活用の方策について、具体的に検討・立案した。
- ③ 上記の調査および会議の成果を踏まえ、平成18年度の同支援事業へ、「アニメーション産業および関連ビジネスの創出」を図るため、ピエンナーレ基金を代表団体とする全17団体によるコンソーシアム「ポール・イマージュ・広島」を組織し、社会基盤整備事業「広島アジア・アニメーション創発プロジェクト」として、公募申請し、全国89件の応募の中から18件採用のひとつとして選ばれ、事業を受託した。

受託予算額⇒67,111,874円（税込）

予算の性格⇒国が一部負担して、多年次に渡って支払う補助金とは異なり、100%支給だが、単年の支給。

受託期間 ⇒平成18年7月3日～平成19年2月28日

事業の統括と事務局機能⇒広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金

戦略立案・実施報告書作成⇒有限会社地域科学研究所

■ 事業目的

ポール・イマージュ・広島は、「広島国際アニメーションフェスティバル」「広島アニメーションピエンナーレ」と連携しながら、関係機関との協働を通じて、アニメーションを核とした集客交流サービス事業を実践することにより、広島におけるアニメーション産業の立地を促進するとともに、それらを資源とした国内外からの集客交流人口を増加させることを目的とした。その際、既存イベントの定着・充実を図るとともに、「情報の広がり」「街への広がり」「場の広がり」の3つの観点から関連事業を実施し、アニメーションに対する関心や活動を広島の街全体へ広げていくことにより、広島の市民や事業者、アニメーション関係者等が一丸となって、この目的を達成できるように取り組んだ。具体的に、次の6つの事業テーマを設定し、具体的事業を実行した。

参加交流…各種イベント等を通じて、広島市民等の関心を高め、参加を促す。

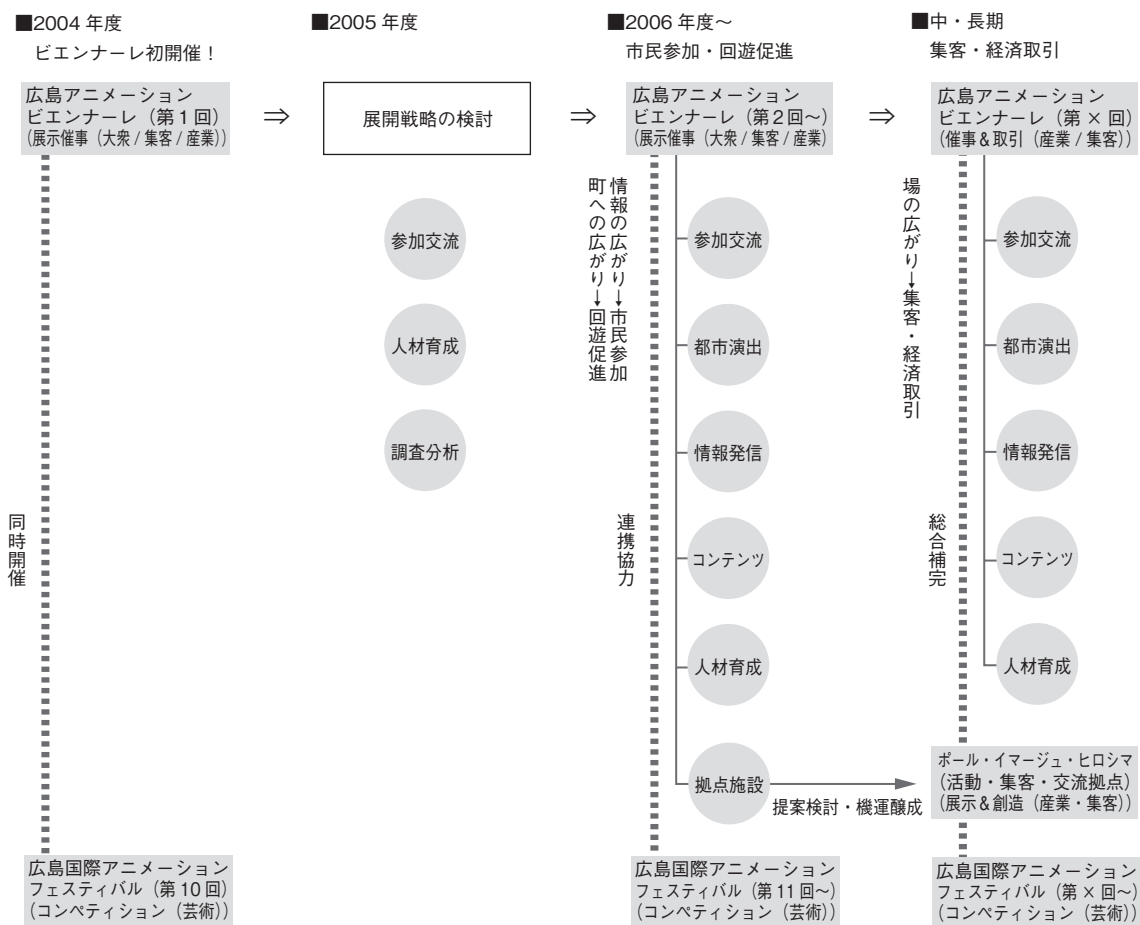
都市演出…街じゅうをアニメーションでいっぱいにし、来訪者等の回遊を促す。

情報発信…各種メディアを介した情報提供により、広島市民等の関心を高める。

コンテンツ…アニメーションコンテンツを活用した産業・文化活動を展開する。

人材育成…アニメーション作家等を養成し、アニメーション産業の振興を図る。

拠点施設…参加交流や情報提供、産業創出等の拠点となる施設を整備する。



■ 具体的実施内容

① アニメーションシティ広島（ウェブサイト：地域SNS）

アニメーションをテーマとしたウェブサイトを立ち上げ、会員登録することにより、アニメーション愛好家同士の交流や、地元クリエイターの紹介、イベント告知等を行った。

② 広島エデュケーショナルフィルムマーケット（見本市／来場者：4日間で5,400人）

広島国際アニメーションフェスティバルと同会場にて、学生・教育機関を出展者とする見本市を開催。全国から26校の大学・専門学校が出展。同フェスティバルへ来場するアニメーション制作会社・代理店・放送局等との商談を行った。

③ 広島アニメーションセンター社会実験事業（拠点施設運営／来場者：2ヶ月間で1,100人）

アニメーション関連の拠点施設を、10月6日から11月26日の2ヶ月間限定の社会実験として、開場した。同施設では、プロデューサー育成セミナー・アニメーション制作体験ラボ・ミニシアター・展示等を行った。

■ 事業実施結果

●実施地域：広島県広島市

●コンソーシアム参加団体：有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金、Habyクラブ、有限会社地域科学研究所、株式会社総合広告社、株式会社スタジオロータス、有限会社 SOHO 総研、有限会社 ROCKETS、株式会社 ENTER、有限会社ヤママラアニメーション、アートマネジメント研究所、広島市立大学、株式会社Dキューブ、有限会社 S-Produce、広島市中央部商店街振興組合連合会、インディケット、株式会社 JTB 中国四国、広島地域インバウンド推進実行委員会

事業の目的と課題

【目的】

本事業は、「広島国際アニメーションフェスティバル」と連携しながら広島におけるアニメーション産業の育成を図るとともに、「広島アニメーションピエンナーレ」と連携したアニメーションを核とした集客交流サービス事業を実施することにより、①広島市民や中小企業の参加と連携、②通年にわたる集客交流の促進、③アニメーション産業および関連ビジネスの創出を展開。さらに、これらの事業間の相互作用を仕掛けることで、新規ビジネスの創出やそれらの担い手となる多様な人材の育成など、新しいアイデアや具体的事業を創発的に引き起こしていくことを目的とする。

【事業課題】

事業全体を通じて次の仮説を検証し、事業のモデル性を解明。

- ① 「人材育成」を柱とするコンテンツ産業育成と集客交流の促進（コンテンツ産業を担う人材育成、集客交流に関わる人材育成）
- ② 通年化・常設化による商品力・集客力の強化（商品力や集客力の向上、来訪者の来訪・滞在価値の向上）
- ③ 既存事業者の参画・協働による集客交流サービス事業の創発的展開（実施体制の確立・強化、相互作用を通じた新たな商品・サービスの創出）

実施事業概要

市民参加型情報通信基盤整備事業（アニメーションシティ広島）

- ・「アニメーションのまち・広島」を応援する個人や団体、企業等による コミュニケーション・発信サイト「アニメーションシティ広島」(<http://www.animation-city-hiroshima.com/>) を開設・運営。

- ・主な内容：バーチャル市民登録（My Page、日記）、クリエイター紹介、イベント紹介、観光情報。

【成果概要】

- ・4か月間（10～1月）で約2,300人訪問。
- ・地元企業によるアニメCM公募事業とのタイアップ



コンテンツ活用ビジネス開発事業（広島フィルムマーケット）

- 広島国際アニメーションフェスティバル開催に併せて、教育機関を対象にしたアニメーション作品等のマーケットを試行。
（平成18年8月24～28日、5日間）。

【成果概要】

- 26校の大学・専門学校（広島、東京、京都、大阪他）が出展。
- 5日間で約5,400名来場。
- 広島国際アニメーションフェスティバルと集客面での相乗効果。



拠点施設運営事業（広島アニメーションセンター）

- アニメーションに関わる展示、上映、人材育成、交流等機能を備えた拠点施設の試験的運営（平成18年10～11月、2か月）。
- 主な内容：展示コーナー、ミニシアター、アニメ制作体験、アニメ作家等によるセミナー、コンテンツプロデューサー養成講座、プロモーションイベント、オリジナル商品開発・試験販売。

【成果概要】

- 2か月間で約1,100人来場。
- アニメ制作体験・人材育成サービスに来場者の高い評価。



成果・評価

●事業成果

【事業課題①に対する評価】

（産業育成面の評価）

- プロデューサー及びクリエイター育成プログラムは受講者から好評で、継続的な実施・充実が必要。

（集客交流面の評価）

- 広島都市圏で目利きの確保は困難。圏外からの誘致も検討の必要。
- 各プログラムにおいて事業協力を確保。受入・指導体制の確立が課題。
- 愛好者層はアニメの分野に応じた分類と個別のプロモーションが必要。

【事業課題②に対する評価】

- 教養講座あるいは実務家育成講座に対する参加者の評価が高い。
- 「アニメーションシティ広島」は発信内容の一層の魅力化とアクセス数及び登録利用者数の増加が課題。
- 「広島フィルムマーケット」は作品取引よりも参加学生にとっての教育効果が顕著にみられた。
- 「広島アニメーションセンター」はハード整備にこだわらずソフトな教育交流プログラムを確立し、通年的に提供することが有効。

【事業課題③に対する評価】

- 各参加団体の強みを活かして各事業を同時多発的に展開できたが、事務局体制の脆弱さもあり、顧客に対する統一的なプロモーションが欠如。
- 広島都市圏の飲食店やデザイナー、印刷会社とのネットワークを確立・強化できた。
- 東京周辺のアニメーション関係者とのネットワークを確立・強化できた。
- アニメCM公募やウェブ検索システムなど、当初に想定しなかった新たな事業を創出することができた。

(2) アニメCMオープンコンペ

■ 事業概要

- ① 当コンペは、平成18年度のポール・イマージュ・広島事業の一環として企画され、意欲的で創造性に富む若いアニメーション・クリエイターを発掘し、世に送り出すことを目的として開催した。その後、独立した事業として実施した。
- ② 当コンペの優秀賞受賞者の中から、後に文化庁主催の「平成19年度第13回全国学生CGコンテスト」で最優秀賞を受賞したアニメーション作家を輩出した。(広島市立大学芸術学部 杉殿育恵氏)
- ③ 企画の実施に当たり、広島のアニメーション産業の発展と若きクリエイターの育成を願う広島の地元企業から、パトロネージ(後援・協賛者)を募り、費用の一部の拠出をお願いし、出資企業のテレビCM枠で、約3ヶ月間、優秀作品を企業CMとして放送した。
- ④ 当事業は、経済産業省(中国経済産業局)からの受託事業として、ビエンナーレ基金、(株)総合広告社が企画・運営した。

■ 具体的実施内容

① 第1回アニメCMオープンコンペ

- ・ スポンサー：株式会社にしき堂(もみじまんじゅう)
- ・ CMテーマ：「お菓子は平和の食べ物」
- ・ コンペ概要：

東はさいたま市から西は下関市まで、33人のクリエイターから34点の作品が寄せられ、33人のクリエイターのうち30人までが、アニメーションを学ぶ大学生、専門学校生。3人が社会人。

【審査委員】

久谷 政樹(代表)	京都デザイン協会理事長・京都造形芸術大学名誉教授・にしき堂顧問
大谷 博国	にしき堂代表取締役
笠原 浩	広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科メディア造形助教授
前田 稔	アニメーション作家
島田 卓	アニメーションシティ広島サポーター・ウェブサイト「歌詞GET」運営者
松浦 妙子	アニメーションシティ広島サポーター

【審査結果】

【優秀作】 2作品

「もみまんサイコーにしきドー(ヘンデルとグレーテル編)」	杉殿育恵(広島市立大学大学院)
「里帰り」	益田健太(比治山短期大学)

【奨励賞】 4作品

「お菓子は平和な食べ物」	三好貴志(広島電子専門学校)
--------------	----------------

「恋愛が出来るのは平和な証拠」	鈴木雄大（東放学園専門学校）
「とびだせ！もみまん番長」	若山利恵子（デザイン事務所所属）
「平和のお菓子 もみじまんじゅう」星衣久江	（京都造形芸術大学 - 通信）

② 第2回アニメCMオープンコンペ

- ・スポンサー：オタフクソース株式会社（お好み焼きソース）
株式会社セカンドビジョン（IT会社）
- ・CMテーマ：オタフクソース「お好み焼きでだんらん」、セカンドビジョン「音楽のある風景」
- ・コンペ概要：
全国からグループを含め90人・116点の応募があった。応募作の水準が第1回に較べると大きく向上し、中に5人の外国人留学生の応募があった。

【審査委員】

笠原 浩（代表）	広島市立大学芸術学部 デザイン工芸学メディア造形 准教授
谷口 重徳	広島国際学院大学 現代社会学部 准教授
安東 善博	中国放送株式会社 代表取締役社長
島田 卓	ウェブサイト「歌詞GET」運営者
樋園 朗	オタフクソース株式会社 マーケティング部部長

【審査結果】

【優秀作】 2作品

A部門「おこのみやきのおいしいたべかた」	竹森 梓（比治山大学短期大学部）
B部門「歌詞ゲットで思い出写真！」星衣久江	星 衣久江（京都造形芸術大学通信部）

【優秀作候補】 6作品

「笑顔のきっかけ」	明石瀬里奈（成安造形大学）
「無題」	杉殿 育恵（広島市立大学大学院）
「無題」	宮本 雄岐（東京工芸大学芸術学部）
「Refrain」	尾上 雅美（比治山大学短期大学部）
「気持ちを贈るのは…」	チーム桃尻（掛谷公恵）（岡山県立大学デザイン学科）
「My Memories」	平山 未令（比治山大学短期大学部）

【奨励作】 6作品

「昼すぎの電車」	坪石 真実（比治山大学短期大学部）
「無題」	宮迫 慎（比治山大学短期大学部）
「～オタフク戦隊ウマインジャー 貧乏学生編～」	チーム堀田（堀田亜里沙）（日本コンピュータ専門学校）
「オタフク家族 ～クッキングパパ編～」	小田 亜矢（広島市立大学）
「お兄ちゃんバージョン」	新見 香里（専門学校東京ネットウエーブ）
「無題」	沈 靖 宣（日本工学院）

ひとネット

東京 「お酒を飲んでけんかする人はいても、お菓子を食べながらけんかする人はいない」と話すのは和菓子メーカーのにしき堂（広島市東区）の大谷博国社長。「お菓子は平和の食べ物」をテーマにアニメCMを公募し、東京都内で優秀作品を発表した。



広島経済同友会が取り組むアニメによる町おこし活動

に賛同。「若いアニメ作家の育成に貢献できればと思った」と企画の狙いを説明する。

子どものころ「サイボーグ009」や「狼少年ケン」などの作品に親しんだ。「個人的にもアニメは好きなんです。広島からアニメ文化を発信する力になりたい」（漆原毅）

菓子の魅力アニメで伝える

平成19年3月30日(金) 中国新聞



アニメ応募 貴重な体験

佐南区。若手を対象にしアニメや実写を組み合わせた和菓子メーカー、にしがた作品を作りたい」と夢を膨らませる。

アニメ作家を目指す杉殿さんは「広島のアニメ文化をもっと質の高いものにしていきたい」と意気込む。「これまで短編アニメを作ってきたけどCMは初めて。今後は長編アニメにも挑戦したい」（鈴木直美）

ひと交差点

平成19年4月1日(日) 中国新聞

(3) アニメーション総合ポータルサイト「広島アニメーションシティ」

■ 事業概要

- ① 平成19年6月、ポール・イメージ・広島におけるインターネット事業の欠点を補い、インターネット事業としてビジネス化し、地域のコンテンツ産業振興の基盤とするため、アニメ関連ニュース・アニメ歌詞検索・小説の閲覧投稿機能を備えた同サイトを開設した。
- ② サイト開設より約1年で、「グーグルページランク5」を獲得し、平成21年3月現在82万ページビューを達成。
- ③ 当事業は、ピエンナーレ基金の自主事業として、(株)総合広告社、(株)セカンドビジョンの3社共同事業体として企画・制作・運営した。
- ④ ピエンナーレ基金解散後も共同事業体の残り2社が、継続して運営する予定。

■ 具体的実施内容

- ① 広島国際アニメーションフェスティバルを含め、広島のアニメーション関連サイトが、バラバラに7つ存在していたので、これらのサイトを統括するポータル（窓口）サイトを制作し、広島のアニメーションに関連する情報発信の一元化を図るとともに、わかりやすいドメインを取得した。
- ② インターネットサービスの「歌詞GET」を運営する「(株)セカンドビジョン」の協力により、「アニメソング歌詞検索機能」を上記ポータルサイトに実装し、「アニメ」または「アニメ 歌詞」等の単語で検索されやすくするようにした。
- ③ S E O対策の様々な手段を駆使し、グーグル、ヤフー等検索エンジンからの訪問客増やす工夫をした。



www.hac.or.jp



平成19年6月2日(土) 中国新聞

(4) みんなのライトノベルコンテスト

■ 事業概要

- ① 平成19年6月に開設したポータルサイト「広島アニメーションシティ」上にて、広島・瀬戸内海・中国地方をテーマにした小説コンテスト「みんなのライトノベルコンテスト」を開催した。
- ② 全国より75作品の応募があり、うち8作品を選出し、書籍化した。
- ③ 当事業は、ピエンナーレ基金の自主事業として、広島国際学院大学、(株)セカンドビジョンの協力を得て、企画・運営した。

■ 具体的実施内容

① コンテスト概要

- アニメ・TVドラマ・映画の原作となる、「ライトノベル」を公募した。
- 「広島・瀬戸内海・中国地方」をテーマ・舞台とする作品部門と、フリー部門の2部門を募集した。

② 事業体制

- 主催：広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金
- 特別協力：広島国際学院大学・代々木アニメーション学院
- 後援：広島市・広島市文化財団・東映アニメーション・中国放送

③ 応募規定

- ビジュアルが付くことを意識したエンターテイメント小説であること。ファンタジー・ミステリー・恋愛・SFなど、ジャンルは不問。
- 商業的に未発表作品であること。同人誌・個人ウェブ上での作品掲載は可とする。

④ 審査方法

• 1次選考

* 2008年1月11日（金）より、広島アニメーションシティ（<http://www.hac.or.jp/>）内に、「みんなのライトノベル」コーナーをオープン。作品の閲覧を開始した。

2008年3月1日より、サイト上にて人気投票を開始。3月14日（金）投票締切。

* 2008年3月3日（月）～14日（金）、基金選定の審査員により、1次審査を開始。

* 「広島・瀬戸内海・中国地方」をテーマ・舞台とする作品部門と、フリー部門の2部門にて、各5作品、計10作品の1次選考通過作品を決定。

• 2次選考

* 2008年3月16日（日）、広島国際学院大学立町キャンパスにて、当コンテストの関連イベント「広島アニメーションをつくる！」を開催し、アニメーション制作関係者などを招き、1次選考通過作品の講評等を行った。

* 当イベントを踏まえて、1次選考通過の10作品の内から、最優秀賞（1本）、優秀賞（2本）、読者賞（1本）を決定。

*2008年3月下旬「東京国際アニメフェア2008」にて記者会見を開催し、審査結果を発表。

⑤ 審査結果

• 総応募本数：75本

* 広島・瀬戸内海・中国地方部門 22本

* フリー部門 53本

• 第1次審査通過作品：19本

* 広島・瀬戸内海・中国地方部門 9本

* フリー部門 10本

• 第2次審査通過作品（入賞作品）：8本

最優秀賞：25万円×1本

該当作品なし

優秀賞：10万円×2本

『蝉の鳴かない夏』 近藤 美緒

『タンデム～HAYASE SETO AND APPROACHES』 石川 恵美

佳作：5万円×2本

『彩姫封魔伝』 中川 真由美

『夏の停止線』 廣田 智子

シナリオ賞：5万円×2本

『ポケットの中の天球儀』 城 宣彦

『鋼鉄少女』 桑野 修徳

WEB投票賞：5万円×2本

『まぼろしのバット』 倉本 良彦

『うさぎとこいぬ～うみのまち～』 小林 静香



平成20年4月5日(土) 中国新聞

(5) 平成20年度中国地域の文化資源情報発信及びコンテンツ人材育成事業

■ 事業概要

- ① 本事業は、ピエンナーレ基金が開催した「みんなのライトノベルコンテスト」の成果をさらに進め、当コンテストの入賞作品を原作としたアニメ作品を制作するための企画提案書（パイロット版映像を含む）を公募し、コンペティションを行うことで、中国地域に根ざした文化資源情報（物語、民話、歴史、地理、エピソード等）をふまえた魅力あるアニメ作品づくりの実現を目指した。
- ② 同時にアニメ制作に関わる実践的な技術を教える「コンテンツプロデュースセミナー」を開講し、上記小説コンテストを原案にしたアニメ制作コンペを実施した。
- ③ 当事業は、経済産業省（中国経済産業局）の地域コンテンツ活用事業として、(株)RCC フロンティアとピエンナーレ基金の共同事業体が受託し、企画・制作・運営した。

■ 具体的実施内容

① コンテンツプロデュースセミナー

- ・将来アニメ産業をはじめとしたコンテンツプロデュースを目指す方を対象に、「コンテンツプロデュースセミナー」を開催した。
- ・コンテンツビジネス、アニメ業界の第一線で活躍中の方を講師に迎え、アニメ制作コンペの題材であるライトノベルを活用した演習も行い、より実践的なノウハウを伝授した。

【セミナー概要】

第1回	9月27日(出)13:30～	コンテンツプロデュース概論Ⅰ
		プロデューサーとは～地域の文化資本を映像化する～株式会社中国放送 門田 大地
第2回	9月27日(出)15:30～	コンテンツプロデュース概論Ⅱ
		アニメビジネス最前線～制作・流通・マーチャンダイジング～東映アニメーション株式会社 清水 慎治
第3回	10月4日(出)10:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅰ
		～シナリオの書き方～代々木アニメーション講師 増田 昌平・吉田 治幸
第4回	10月5日(日)10:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅱ
		設定資料集～キャラクター、背景、衣装等の作成～代々木アニメーション講師 島 久登
第5回	10月18日(出)10:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅲ
		～アニメ企画書作成セミナー～代々木アニメーション講師 吉田 治幸
第6回	10月19日(日)10:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅳ
		～アニメ演出セミナー（レイアウト、演技等）～代々木アニメーション講師 増田 昌平
第7回	11月15日(出)13:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅴ
		～企画書作成におけるキャラクターの提案の仕方～湖川 友謙
第8回	11月29日(出)13:00～	コンテンツプロデュース演習Ⅵ
		～絵コンテ（映像脚本）の描き方（基礎）～代々木アニメーション講師 増田 昌平

第9回 11月30日(日)10:00～ コンテンツプロデュース演習Ⅶ

～絵コンテ（映像脚本）の描き方（応用）～代々木アニメーション講師 増田 昌平

第10回 12月13日(土)13:00～ コンテンツプロデュース演習Ⅷ

～カメラワーク（アニメ撮影技法）及び映像モンタージュ（編集）、クリエイターの為の法律基礎及びパイロット作品制作技法～代々木アニメーション講師 高橋 昌也

② アニメ制作コンペ

- 当コンペは、ピエンナーレ基金が平成19年度に実施した、「みんなのライトノベルコンテスト～広島・瀬戸内海・中国地方に眠る文化資本を掘り起こし、新しい物語を創造する～」の入賞作品を原作として、これをアニメ映像化することを目的とした。
- 東京一極集中ではなく、地域の文化やその土地ならではの魅力をアニメ化し、ビジネスとして流通させようという試み。
- 入賞作品は、「東京国際アニメフェア2009」で入選者によるプレゼンテーション、パイロット版の上映、ブース出展を行う。

• 具体的実施内容

*主 催 中国経済産業局

*共 催 有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金

*後 援 鳥取県、鳥取県教育委員会、島根県、島根県教育委員会、岡山県、岡山県教育委員会、広島県、広島県教育委員会、山口県、山口県教育委員会、広島市、広島市教育委員会

*事業実施 アニメ制作コンペ実行委員会

広島経済同友会アニメーションピエンナーレ基金

広島国際学院大学、代々木アニメーション学院

RCCフロンティア

*審査員（敬称略）

谷口 重徳…広島国際学院大学 現代社会学部 准教授（審査委員長）

東 不可止…株式会社テレビ東京 編成局 アニメ放送部プロデューサー

清水 慎治…東映アニメーション株式会社 企画開発本部

高梨 実…バンダイビジュアル株式会社 コンテンツ企画開発室

都丸 尚史…株式会社講談社 モーニング編集部副編集長

丸山 正雄…株式会社マッドハウス COO

門田 大地…RCC 中国放送事業センター長

中山 光治…中国経済産業局 産業部 サービス政策担当 参事官

*審査基準

原作小説の特徴を生かし、中国地域の魅力をきちんと伝える作品であるか

本編制作（アニメ）の可能性はあるか

本編から派生する関連ビジネス（キャラクター・出版等）の可能性はあるかどうか

ストーリー性、創造性、娯楽性、訴求力、技術力、芸術性、構想力を評価
応募者の将来性

***表彰**

入選作品（5点程度）には、副賞として奨励金（総額50万円）支給
（広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金が出資）



みんなのライトノベルコンテスト入賞作品集
「セトモノガタリ！」上下2巻

(27) **社会** 17版 2008

中国経済産業局は、中国地方や瀬戸内海を題材にした小説を原作とする「アニメ制作コンペ」を開く。アニメ・コンテンツ産業の育成と人材発掘を図る初の試み。入選作を東京の展示会に出品し、制作会社や放送局にPRして商品化を目指す。

中国地方や瀬戸内海舞台

小説素材にアニメコンペ

いた「みんなのライトノベルコンテスト」で入選した八つの小説のうち一作品を題材に選び、五分以内の動画などを提出し、品者は十月末までに申し込み、来年一月末までに

中国経産局 人材発掘へ初の試み

中国地方の魅力が伝わるか▽商品化の可能性▽技術力などを基準に入選作を五点程度選んで奨励金を贈り、作品は来年三月の「東京国際アニメ」

作品を提出する。実行委 082(223)02611RCCフロンティア。HACアドレスは <http://www.hac.or.jp> (奥田美奈子)

平成20年9月11日(金) 中国新聞

(6) 平成17年度 広島・アジア アニメーションシンポジウム

■ 事業概要

- ① 平成17年10月7日、リーガロイヤルホテル広島にて、日本動画協会会長 松谷孝征氏、韓国のアニメーション監督 キム・ムンセン氏他を招き、アニメーションによる地域振興についてディスカッションした（来場者300人）。
- ② 当事業は、財団法人貿易研修センターの補助金を活用し、中国経済産業局とピエンナーレ基金が一部費用を負担し、企画・運営した。

■ 事業内容

「広島から世界へ飛び出せ！若い才能」

平成17年10月7日（金）14：00から、広島市中区基町のリーガロイヤルホテル広島にて、ピエンナーレ基金、広島市、広島市文化財団、中国経済産業局、（財）貿易研修センターによる実行委員会により、「広島・アジア アニメーションシンポジウム」が開催された。

大学・専門学校等の映像制作を志す学生が200名、経済界・一般参加者が150名と、合計350名が集まり、「アニメーション」に対する関心の高さを窺い知ることができた。

多摩美術大学教授 片山雅博氏が、パネリストの選定・招聘をはじめ、シンポジウムの骨格のすべてを構築され、当日は、広島が取り組むべき方向性を明示しながら、自らが軽妙な語り口で、シンポジウムの進行を担当された。



まず、基調講演では、手塚プロダクション代表取締役社長 松谷孝征氏が、世界におけるアニメーションを取り巻く状況を説明。韓国を筆頭に、中国他の国々が「国策」でコンテンツビジネスの振興に取り組んでいることを指摘。中間法人日本動画協会理事長として頻りに招待講演等のために訪中・訪韓しているとの報告があった。また、日本のアニメーターたちが、必ずしも恵まれた環境で創作活動をしているとは言いがたい現状を改善するため、中間法人日本動画協会において取り組んでいる、と報告した。

続いて、おまちかねの、アニメーション上映会が、約90分間開催された。

手塚プロダクションからは、第1回広島国際アニメーションフェスティバルグランプリ受賞作品である「おんぼろフィルム」を筆頭に、手塚治虫氏の遺作となった、「森の伝説」の上映。



また、高橋良輔監督からは「火の鳥」「モリゾーとキッコロ」等、高橋監督の懐の広さ、引き出しの多さを感じさせる作品を上映。

続いて、キム・ムンセン監督は、韓国アニメーション業界史上最高の予算額を投資して制作し、日本語版の制作を「エヴァンゲリオン」のガイナックスが担当した近未来アニメーション「ワンダフル・デイズ」の紹介と、愛・地球博の大韓民国パビリオンで上映していた、「tree ROBO」の全編公開を行った。

パネルディスカッションでは、松谷社長が、アニメーション制作現場の厳しさを指摘し、若者達に檄を飛ばしたのに対し、高橋監督が「自分は、アニメーションを作り続けることができ、本当に幸福だ。最初は苦しいかも知れないが、自分の思う道を突き進むべきだ。」という受け答えに始まり、活発な議論が繰り広げられた。

なかでも、高橋監督の、「現在は、アニメーションの制作に対し、様々な会社から資本が投下され、制作規模が以前にくらべて大きくなっている。これは、ある種のバブルだといえなくもない。巨費を投じた作品がこけると、一斉に資本が引き上げてしまうのではないかと、との危惧がある。また、規模が拡大した割には、制作現場には「潤っている」という実感が薄い。」という現場からの指摘が、説得力があった。

また、キム・ムンセン監督は、韓国のアニメー

ション業界の現状について、「国策で、アニメーションの教育課程を持つ大学が一気に100以上も設立されたが、その中で、実際にプロフェッショナルとして活躍できたのは、ごく一部。大手のプロダクションに採用されなかった人々が、自分たちで、会社やプロジェクトを立ち上げ、コンピューターを多用して作品を創作するようになった」と報告し、「映像を創作したいという、強い意思があれば、日本であろうが韓国であろうが、場所は関係ない。広島你若者たちよ、一緒にがんばりましょう。」というエールが送られた。

続いて、広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金代表理事 中国放送代表取締役社長 金井宏一郎氏が、広島国際アニメーションフェスティバルの開催から、アニメーションワールド構想を経て、広島アニメーションビエンナーレ2004の開催に至った経緯を説明。「アニメーションのまち・広島」を実現するため、人材育成と集客交流事業に注力してゆくことを決意表明した。

シンポジウムの終了後、交流会が開催され、クリエイターの卵である学生さんたちと、地元経済界の主要なメンバー、パネリストの皆さんが、入り混じって談笑するという、これまで見たことがない、ある種「感動的な」光景が繰り広げられた。

参加者一同、「大変よかった。また、同様のシンポジウムを開催してほしい」という感想を口にしながら、帰途についた。



(7) 平成18年度 中国地域におけるアニメ等コンテンツを活用した地域振興方策調査

■ 事業概要

- ① 広島市、境港市などの、中国地方における漫画・アニメーションにちなんだ街おこし事例について調査した。
- ② 当事業は、中国経済産業局の調査事業として、(有)地域科学研究所が受託し、ピエンナーレ基金が協力して事業を実施した。

■ 事業内容

調査対象地域	
鬼太郎に会えるまち（鳥取県境港市）	広島国際アニメーションフェスティバル(広島県広島市)
名探偵コナンに会える町（鳥取県北栄町）	広島アニメーションピエンナーレ(広島県広島市)
遥かなまち倉吉 創造プロジェクト（鳥取県倉吉市）	ポール・イマージュ・広島（広島県広島市）
石見フィルムコミッション（島根県浜田市他）	広島フィルムコミッション（広島県広島市）
いがらしゆみこ美術館（岡山県倉敷市）	物怪プロジェクト三次（広島県三次市）
吉備川上ふれあい漫画美術館（岡山県高梁市）	島耕作バス（山口県岩国市）
広島市まんが図書館（広島県広島市）	

(8) 平成19年度 中国地域におけるアニメ等コンテンツを活用した地域振興方策の実証事業

■ 事業概要

- ① 前年度の調査事業を受け、境港市における「ゲゲゲの鬼太郎 新ビジネスプランコンテスト（土産物開発）」や広島市における「第2回アニメCMコンペ」等、アニメ等コンテンツを活用し、ビジネスモデルを検証する実験をおこなった。
- ② 当事業は、中国経済産業局の実証事業として、社団法人中国地方総合研究センターが受託し、ピエンナーレ基金が協力して事業を実施した。

■ 事業内容

地域特定型キャラクタービジネスのモデル事業

- ・ゲゲゲの鬼太郎新ビジネスプランコンテスト
- ・青山剛昌ふるさと館（名探偵コナン）・地域ぐるみ集客促進事業

地方におけるアニメ制作ビジネスのモデル事業

- ・第2回アニメCMオープンコンペの開催

プロモーションイベントの開催

- ・まんが・アニメ中国路～マンガ・アニメの力・可能性を地域に活かす～
 - *日時：平成19年11月11日（日）・12日（月）
 - *場所：エールエール地下広場
 - *内容：シンポジウム・アニメ上映会・ブース出展

・招請ツアー行程

日	時	間	行	程
3日(月)	10:00	11:40	ソウル→関空(OZ112)	
	13:00	14:00	昼食(関空周辺)	
	15:30	17:00	手塚治虫記念館	
	17:30	19:30	夕食(宝塚市内)	
			ホテル着	
4日(火)	8:30	ホテル発		
			宝塚～院庄～R179～倉吉(約3時間10分)	
	11:30	12:00	倉吉白壁土蔵群:「遙かな町へ」谷口ジローの街並	아버지 다니구치지로
	12:00	13:00	昼食(倉吉市:町屋清水庵)	
	13:30	14:30	青山剛昌ふるさと記念館	
	15:30	17:00	水木しげる記念館(※16:30まで)～水木しげるロード	
	18:00	19:00	夕食(米子市内)	
		ホテル着		
5日(水)	8:30	ホテル発		
			米子道～中国道～広島道(約3時間14分)	
	12:30	13:30	昼食(広島市内)	
	14:30	16:00	宮島(厳島神社等)	
	16:30	18:00	広島市内視察等	
	18:00	20:00	夕食(広島市内)	
		ホテル着		
6日(木)	8:30	ホテル発		
	10:00	11:00	日本側関係団体プレゼンテーション	
	11:00	12:00	広島国際アニメーションフェスティバル受賞作品上映会	
	12:00	14:00	昼食(広島市内)	
	14:00	16:00	国際交流セミナー(アニメ関係者、エージェント、マスコミ)	
	16:30	20:00	情報交換会・夕食会(広島市内)	
		ホテル着		
7日(金)	8:30	ホテル発		
	9:30		広島空港着	
	12:10	13:45	広島→ソウル(OZ161)	

(10) アニメーションを核としたコンテンツ産業振興事業 総括

(単位：円)

実施期間	事業名	主管官庁	事業主体	補助金額	補助割合 (基金負担金)
平成17年6月～ 平成18年2月	平成17年度 サービス産業創出支援事業 (調査事業)	経済産業省	ポール・イマー ジュ・広島	5,000,000	100%
平成17年10月7日	平成17年度 広島・アジア アニメー ションシンポジウム	財団法人 貿易研修センター	中国経済産業局 ビエンナーレ基金 他	2,000,000	50% (800,000)
平成18年6月～ 平成19年3月	平成18年度 サービス産業創出支援事業 (基盤整備事業)	経済産業省	ポール・イマー ジュ・広島	67,111,874	100%
平成18年10月～ 平成19年3月	にしき堂 第1回アニメCMオープン コンペ	中国経済産業局	(株)総合広告社 ビエンナーレ基金 (株)にしき堂		100%
平成18年6月～ 平成19年3月	平成18年度 中国地域におけるアニメ等 コンテンツを活用した地域 振興方策調査	中国経済産業局	(有)地域科学研究所 ビエンナーレ基金	5,670,000	100%
平成19年6月～ 平成20年3月	平成19年度 中国地域におけるアニメ等 コンテンツを活用した地域 振興方策の実証事業	中国経済産業局	(社)中国地方総合 研究センター	14,700,000	100%
平成19年10月～ 平成20年3月	オタフクソース・セカンド ビジョン 第2回アニメCMオープン コンペ	中国経済産業局	(株)総合広告社 ビエンナーレ基金 (株)オタフクソース (株)セカンドビジョン		100%
平成19年6月～ 継続中	アニメーション総合ポータル サイト 広島アニメーションシティ	基金自主事業	ビエンナーレ基金 (株)総合広告社 (株)セカンドビジョン	0	0% (300,000)
平成19年10月～ 平成20年3月	みんなのライトノベルコン テスト	基金自主事業	ビエンナーレ基金 (株)セカンドビジョン	0	0% (500,000)
平成20年6月～ 平成21年3月	平成20年度 中国地域の文化資源情報発 信及びコンテンツ人材育成 事業	中国経済産業局	(株)RCCフロンティア ビエンナーレ基金	8,154,615	100%
平成19年11月～ 平成20年3月	平成19年度 アニメーションによるイン バウンド連携事業(韓国)	中国運輸局	(株)アジアブルームス ビエンナーレ基金	4,762,400	50% (1,000,000)
				107,398,889	(2,600,000)

事業の総括

1. 基金事業の総括

イベントによる集客交流の活性化

- ◆ 第1回目の「広島アニメーションビエンナーレ2004」の設立時においては、イベント事業の企画・制作費用が大きく、収入の当初計画を達成しなかったため赤字となったが、その反省を踏まえ、続く2006事業、2008事業においては、初期段階から基金事務局が中心となって企画立案し、企画・制作費用を圧縮すると同時に、広島経済同友会会員企業による多大なるチケット販売協力をいただいたことにより、黒字を達成した。
- ◆ また設立時の「アニメパークとイベントの分散配置」という基本構想に基づき、ビエンナーレの主催イベント開催にあわせ、地域に広く協賛事業を募り、ネットワーク型のイベント展開を行うことにより、「広島は、まちじゅう、アニメーション」というキャッチフレーズそのままに、祝祭的空間を演出した。
- ◆ 協賛事業の実施主体の中から、アニメーション上映事業など独自の活動を行う「H a b yクラブ」やアニメソングのライブイベントである「アイラブひろしま」などが誕生し、ビエンナーレ基金解散後も、独自に活動を続けるという報告を受けている。

コンテンツ産業人材育成

- ◆ 平成17年1月の広島経済同友会提言「広島市立大学にアニメーション学科を」の発表を端緒として、広島市立大学における寄附講座「広島アニメーションアカデミー」を開催し、地方都市ではあまり聞くことのできない、著名なアニメーション関係者による講義を開催することができた。
- ◆ 提言の主旨である、「広島市立大学におけるアニメーション学科の設立」は実現しなかったが、広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科や比治山大学など、コンテンツ制作教育が進み、首都圏のコンテンツマーケットで通用するクリエイターが輩出されたことは特筆に価する。
- ◆ また、講師選定については、ビエンナーレ基金が講師と直接交渉を行うことにより、著名な方を招聘することができたと同時に、その過程で、さまざまな業界関係者とのネットワーク構築を行い、コンテンツ業界内での「アニメーションの街・広島」ブランドを高めることができた。

アニメーションを核としたコンテンツ産業振興

- ◆ 基金設立当初、その手法や方向性について、明確な戦略を持たなかったが、「経済産業省平成17年度サービス産業創出支援事業」への企画公募参加をきっかけにして、コンソーシアム「ポール・イマージュ・広島」を設立し、中国経済産業局との連携を図り、コンテンツ産業振興と集客交流ビジネスを同時に実現する様々な事業を展開した。
- ◆ コンテンツビジネスにおける制作・流通拠点の首都圏への過度の一極集中状態を打破し、地方都市

における地域の文化や特殊性、多様性を生かした魅力あるコンテンツを開発し、地域の産業振興と結びつけてゆく手法として、「アニメCMコンペ」「みんなのライトノベルコンテスト」「広島アニメーションシティ」等の事業を実施した。

- ◆ なかでも「広島アニメーションシティ」については、基金解散後も、ウェブサイト事業を中心に、地域コンテンツ振興事業を継続的に実施する、という報告を受けている。

まとめ

当基金が、「文化」と「産業」を融合する、様々な事業を遂行することができたのは、以下の理由が考えられる。

- ◆ 事業遂行のための原資を、広島経済同友会有志企業の出資により確保したこと
- ◆ 事務局を、基金出資企業からの出向・派遣で運営し、継続的に活動したこと
- ◆ 国のコンテンツ産業政策の動きと連動した事業を企画・運営したこと
- ◆ 産・官・学プラス民を巻き込んだ事業を行うプロデュース組織として活動したこと
- ◆ 事業の遂行にあたり、固定化した実行体制ではなく、プロジェクトごとに柔軟なチームを組む、ネットワーク型の組織体制であったこと

2. お金の動きから見た、ビエンナーレ基金事業

事務局運営

- ◆ 基金設立にともなう経済界からの出資金 総額 1億 550万円
- ◆ 全5期のビエンナーレ基金事務局経費 合計 3,027万円

イベントによる集客交流活性化

- ◆ 全3回のビエンナーレ事業の事業収益 合計 1億4,479万円
- ◆ 全3回のビエンナーレ事業の事業経費 合計 1億5,693万円

コンテンツ産業人材育成

- ◆ 全12回の広島市立大学公開講座への奨学寄附金 合計 340万円

アニメーションを核としたコンテンツ産業振興

- ◆ 全11本のコンテンツ産業振興事業への国からの補助金 合計 1億 740万円
- ◆ 全4本のコンテンツ産業振興事業への基金負担金 合計 260万円

3. 人の動きから見た、ビエンナーレ基金事業

事務局運営

- ◆ 基金設立より現在まで、事業運営に携わったスタッフ 合計 のべ16人
- ◆ 全3回のビエンナーレ実行委員会に携わった関係者 合計 のべ148人

イベントによる集客交流活性化

- ◆ 全3回のビエンナーレ主催事業の動員数 合計 21万8632人

◆ 全3回のピエンナーレ協賛事業の動員数 合計 100万7419人

コンテンツ産業人材育成

◆ 全12回の広島市立大学公開講座への受講者 合計 1286人

◆ 講師やゲストスピーカーとして招いたアニメーション業界関係者 合計 39人

アニメーションを核としたコンテンツ産業振興

◆ コンテンツ産業振興事業への一般参加者数 合計 1万2000人

◆ コンテンツ産業振興事業におけるコンペ参加者数 合計 270人

◆ 広島アニメーションシティ 閲覧者数 合計 (2007/6 ~ 2009/3) 82万 PV ^{ページビュー}

Hiroshima Animation Biennale
広島アニメーションビエンナーレ

Hiroshima Animation Biennale
広島アニメーションビエンナーレ 事業報告書

発行日 2009年3月5日

発行 有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金

編集 有限責任中間法人広島経済同友会アニメーションビエンナーレ基金事務局
広島経済同友会事務局

編集人 編集長 安東善博

編集 百々隆雄、小野浩二、朝中真紀、小池隆二

印刷・製本 中国印刷(株)